

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

埼玉県 戸田市

自治体名：埼玉県戸田市

担当課名：教育政策室

電話番号：048-441-1800

1.自治体の基本情報

基本情報（令和6年4月時点）

面積	18.17 km ²
人口	142,038 人
公立中学校数	6 校
公立中学校生徒数	11,578 人
部活動数	101 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	一部策定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

戸田市は全国的な少子高齢化の中であって、子育て世帯が年々増加しており、令和6年現在で平均年齢42.3歳、29年連続で県内一若い街となっている。

全体的に少子化の影響は少ないものの、市内6校の中学校で101の部活動（運動部71、文化部30）が活動しており、野球部やサッカー部では部員数不足から学校単独のチームが編制できない現状も出てきている。

令和5年10月に実施した「戸田市立中学校部活動の在り方についてのアンケート」（市内中学校全教職員対象）によると、約98%の教職員が「部活動に課題はある・ややある」と感じていることが明らかとなった。また、部活動を地域移行していくことについても約74%の教職員が「賛成・どちらかといえば賛成」と回答をしている。その理由として最も多かったのが、「教職員にとって

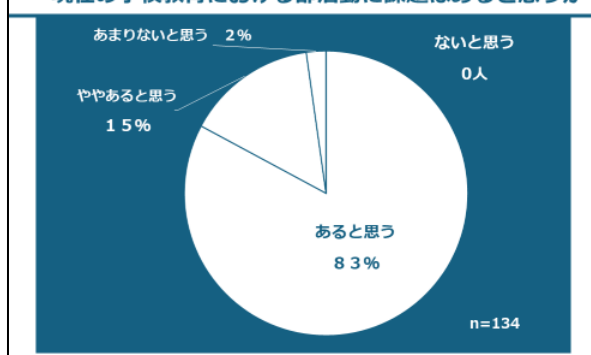
の負担が大きい」ということであった。

戸田市においては、これまで部活動指導員活用事業、部活動サポート事業（民間事業者による指導者派遣）、部活動ボランティア制度（地域住民によるボランティア）により、部活動顧問を支援している。

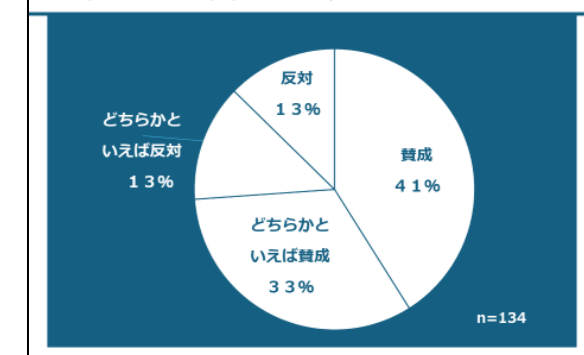
しかし、学校現場の人材不足や保護者・生徒の部活動に求めるニーズの多様化もあり、学校部活動を従前と同様の体制で運営することが難しくなっている現状がある。

そこで、運動部活動の地域移行に向けた実証事業においてその成果や課題を検証することにより、子供たちが多様な運動に親しむことができる環境を更に充実させるとともに、教職員の働き方改革を推進し、持続可能な運営主体のあり方や地域社会との役割分担、指導者の確保等を検討する必要がある。

現在の学校教育における部活動に課題はあると思うか



部活動を地域移行していくことについてどう思うか



「戸田市立中学校部活動の在り方についてのアンケート」（令和5年10月実施・市内中学校全教職員対象）

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（教育政策室）

- 実施主体となる運営団体の確保
 - ・民間事業者を対象に公募を行い、選定（JR東日本スポーツ株式会社）
- 生徒、保護者、地域住民の普及啓発活動
 - ・中学校、戸田市教育委員会、委託先民間事業者による合同オンライン説明会を開催
- 委託先民間事業者への支援・助言

◎首長部局（文化スポーツ課）

- スポーツセンターの利用における窓口
- 戸田市立中学校における部活動の地域移行及び地域連携に係る検討委員会に参加

年間の事業スケジュール

令和6年5月	第2回部活動検討委員会 開催
令和6年7月	各学校に希望調査を実施
令和6年8月	業務委託民間業者 入札・契約
令和6年9月	指導者募集・決定・研修
令和6年10月	保護者説明会 開催
	部活動顧問との打ち合わせ
令和6年11月	実証事業開始
令和7年1月	実証事業終了・効果検証実施
令和7年2月	第3回部活動検討委員会 開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	6 校	実施した地域クラブ総数	6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		6 クラブ（6 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	20 人	全体の運営スタッフ数	4 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に （新）を付ける	実施回数	実施 時間帯	参加者	実施 期間	活動場所	指導者数	運営 スタッフ数	会費	大会参 加方法
①ボートクラブ	民間 事業者	①ボート（新）	年 9 回	9:00 ～ 12:00 または 13:00 ～ 16:00	①32 人	11月～ 1月	主に平日に 部活動を実 施している 中学校	各クラブ 2人 以上で 指導	4 人	年会費800円 （保険料）	なし
②男子卓球クラブA		②男子卓球			②11 人						
③剣道クラブA		③剣道			③10 人						
④男子卓球クラブB		④男子卓球			④18 人						
⑤剣道クラブB		⑤剣道			⑤14 人						
⑥陸上クラブ		⑥陸上			⑥59 人						

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- オンラインによる事前の保護者説明会だけでなく、地域クラブ活動の様子を保護者が自由に見学できるよう呼びかけた。
- 1 回目の地域クラブ活動時に、保護者と地域クラブ指導者・担当者との顔合わせを行ったクラブもあった。

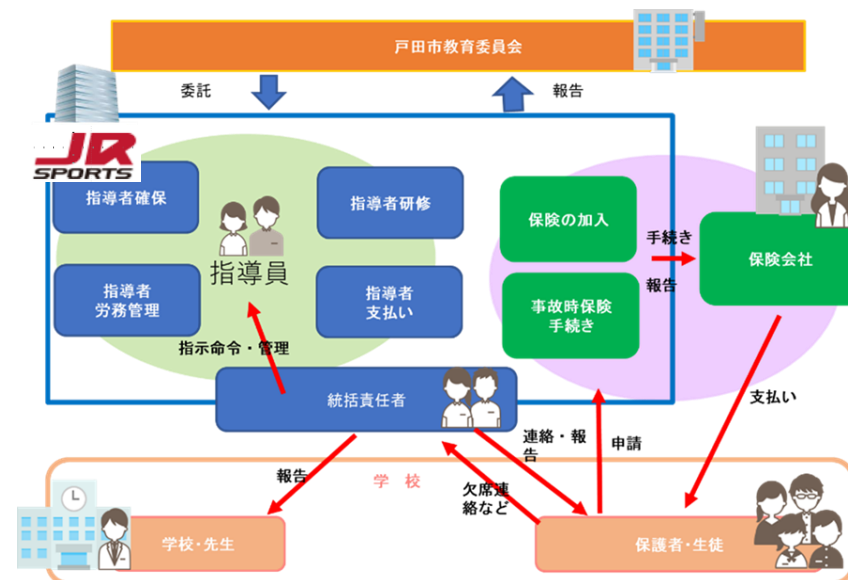
2.実証内容と成果

主な取組例

● 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ボート、男子卓球、剣道、陸上
運営団体名	JR東日本スポーツ株式会社
期間と日数	令和6年11月～令和7年1月 各9回×6クラブ
指導者の主な属性	JR東日本スポーツ株式会社に登録した指導者
活動場所	主に平日に部活動を実施している中学校
主な移動手段	徒歩 (自転車の場合は指導者が引率)
1人あたりの参加会費等(年額)	年間800円(下記の保険料のみ)
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり: 800円/年

● 運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

● 統括責任者

役割: 巡回指導による指導者へのサポート
部活動顧問との密な連携
生徒の出席状況の把握
保護者への連絡や緊急時の対応 等を行う

● 地域クラブ指導者 各クラブ2名以上

役割: 生徒への指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

・運営母体（JR東日本スポーツ株式会社）が、登録した指導者を対象に研修会を実施し、規定の研修を修了した者が指導にあたることとする。

指導者研修の内容

・「戸田市部活動方針」の遵守、本事業の趣旨、学校との分担・連携、指導者の役割、生徒との接し方、体罰等の防止、安全管理、アレルギー対応、種目の指導案作成、マネジメント、指導実技 等

種目・指導者数

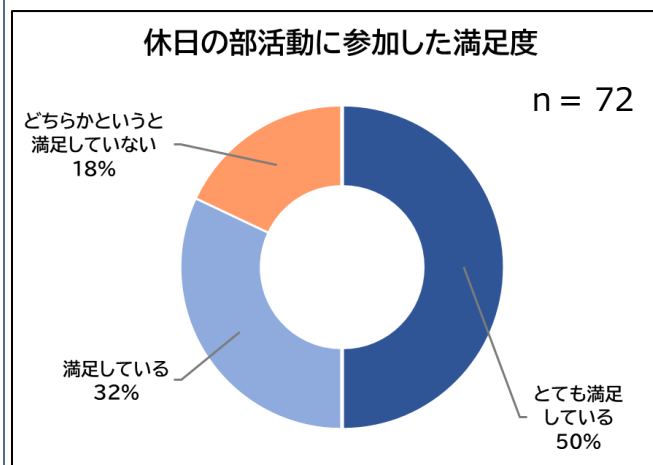
- ①ボート 2名
- ②卓球A 2名
- ③剣道A 2名
- ④卓球B 2名
- ⑤剣道B 2名
- ⑥陸上 2名

資格有無

- ①ボート
1名が公認コーチ
- ③剣道A
2名が有段者
- ⑤剣道B
2名が有段者

取組の成果

令和7年2月に、参加した中学生を対象としたアンケートを実施した（回答数72名）。
・「休日の部活動に参加した満足度」の質問に対し、82%が「とても満足している・満足している」と回答した。



「地域スポーツクラブ実証事業事後アンケート」（令和7年2月実施・対象生徒対象）

○専門的なことを直接聞いて教えてもらえたり、実際にやって見せてくれたりしてわかりやすく教えてもらった。

○とても楽しく部活動ができた。分からない事などを教えてくれる時は、優しく、細かいところまで説明してくれた。

○コーチのおかげで活動も楽しめたし、タイムも上がって上達を感じた。

●一部の期間だけでなく、通年いてほしい。

特に工夫した事項

- ・研修体制や指導体制、人材確保のノウハウをもつ民間事業者と連携して人材確保や事前研修を行った。
- ・2名体制で指導を行うことで、技能レベルに応じた指導や緊急時の迅速な対応が可能になった。
- ・スポーツ協会を通じて関係者に呼びかけ、地域指導者の発掘に努めた。

今後の課題と対応方針

- ・競技に対する専門性はもちろんのこと、ボート競技の公認コーチの資格や剣道の有段者などの資格をもつ指導者もあり、保護者にとっても安心できる指導者を確保できた。
- ・今後の事業拡大を見越して、さらなる人材確保の手立てを用意する。（人材バンクの活用、関係団体との連携、HPでの公募等）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

・戸田市立中学校における部活動の現状及び課題等を踏まえ、今後の部活動の地域移行・地域連携の在り方について総合的に検討するため、「戸田市立中学校における部活動の地域移行及び地域連携に係る検討委員会」を立ち上げた。

・令和6年度は計2回の検討委員会を開催し、説明及び報告や協議を行った。委員は以下のとおりである。

○小・中学校長会 会長

○小・中学校体育連盟 会長・副会長・理事長

○戸田市公立学校PTA連合会 代表

○戸田市スポーツ協会 会長

○戸田市スポーツ少年団副本部長兼事務局長

○戸田市総合型地域スポーツクラブ代表

○市民生活部文化スポーツ課長

○戸田市スポーツセンター所長

○教育委員会学務課長・生涯学習課長・教育総務課長

○教育委員会教育政策室長・課長・事務局

第2回検討委員会（R6年5月）

（1）第1回委員会報告

（2）説明及び報告

①部活動指導員の意向及び任用状況について

②部活動ボランティアの募集状況について

③部活動サポート・部活動地域移行実証事業の計画

④先進地域の取組事例について

（3）協議



第3回検討委員会（R7年2月）

（1）第1回委員会報告

（2）説明及び報告

①令和6年度部活動関連事業の実施状況について

②部活動地域移行実証事業の実施状況について

③近隣市町の休日部活動地域移行の状況について

④地域移行に向けた検討事項及び課題等について

（3）協議



今後の課題と対応方針

・多様な立場からの意見や専門的な知見をもとに、検討を進めることができた。

・今後により多くの潜在的ニーズを踏まえたうえで検討を進められるよう、児童生徒や保護者、教職員、地域関係者などの声を集約するとともに、今後の方向性を広く周知していく必要がある。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

今回の実証事業を通じて、生徒、保護者、顧問から高い満足度を得ることができた。

地域移行を進めるにあたっては、指導者の確保や育成、運営母体の設置など運営に係る課題があるほか、予算の確保や会費等の設定、金銭的な支援の検討など費用に関すること、地域・保護者とねらいの共有や連携、特定の団体が公共スポーツ施設を利用する際の費用や占有などのルールづくり、土日の練習が任意となることによるレギュラー選出の公平性、などが今後の課題になってくると考えられる。

今後も、さらに部活動のもつ総合的教育機能、特に人間関係や生徒指導などの観点で、部活動が切り離された中学校教育の今後の在り方について、関係する自治体・学校・保護者・地域で熟議を行っていく必要がある。また、学校において授業以外の活動の場があることで活躍できる生徒もいると考えられ、地域部活動に参加しない生徒にどんな場を提供できるのかということや、サステナブルな学校部活動、地域クラブ活動とするためのエコシステムの構築として、指導を受けた生徒が、地元地域の指導者へ、多様な関係団体との切れ目のない連携を構築していくことも重要である。

●成果の評価

- 専門的な指導ができる指導者を派遣できる体制を構築することができた。それにより生徒や保護者から高い満足度が得られた。
- 休日の部活動を移行することで、顧問教員の負担軽減につながった。
- 平日の顧問と休日の指導者の連携のあり方についてモデルをもつことができた。
- 昨年度より規模を拡大したことで、地域移行に向けての仕組みづくりについて関係保護者に浸透させることができた。

●今後に向けて

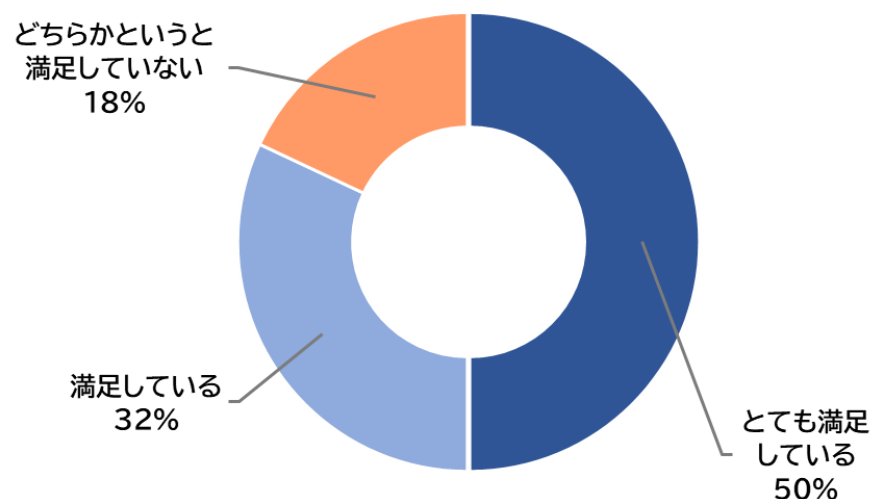
- ・指導者確保は民間事業者に依頼しているため、事業を拡大した場合の指導者不足の懸念がある。
 - ⇒関係団体（スポーツ協会、スポーツ少年団等）と連携し、地域指導者を発掘する。また、多様な地域クラブの受け皿の可能性を模索する。
- ・実証期間が3か月程度に限られてしまう。また、実証が一部の学校、一部の部活動に限られている。
 - ⇒継続的な顧問のサポート体制を確立すると同時に、年間を通じて実施できる体制を整備する。また、実証の規模をさらに拡大し、全校で1～2部活動実施する。
- ・今後の費用負担について検討が必要である。特に受益者負担となった場合に保護者の理解が得られるかが課題である。
 - ⇒説明会で意義を伝えるとともに見学会などの機会を設ける。まずは少額の受益者負担から始めていることから、保護者の理解をさらに得ると共に持続可能な仕組みを構築する。

アンケート結果・参加者の声

令和6年度 事後アンケートの結果から（生徒）

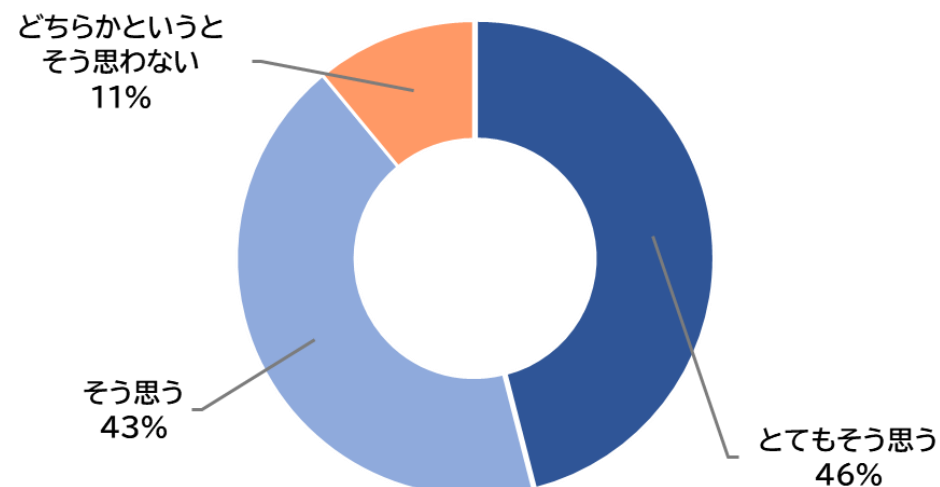
（n = 72）

休日の部活動に参加した満足度



- 専門的なことを直接聞いて教えてもらえたり、実際にやって見せてくれたりしてわかりやすいように教えてもらったからよい機会になった。
- とても楽しく部活動ができた。分からない事などを教えてくれる時は、優しく、細かいところまで説明してくれた。
- コーチのおかげで活動も楽しめたし、タイムも上がって上達を感じた。
- 一部の期間だけでなく、通年いてほしい。

学んだことを平日も意識して取り組んだ

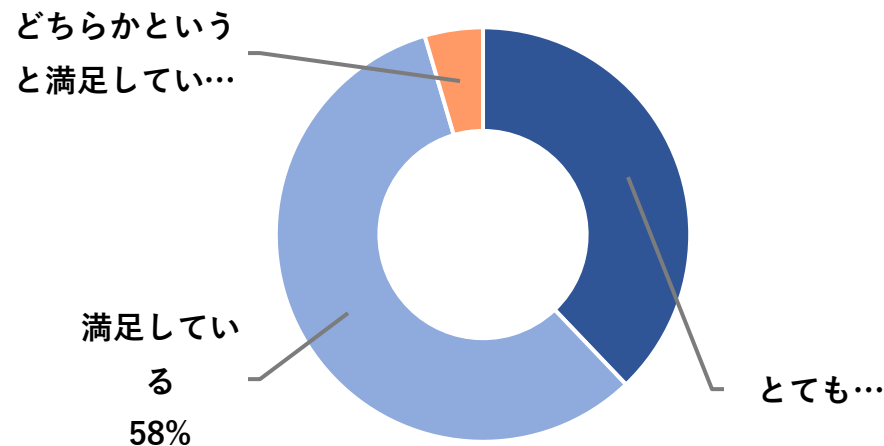


- 速く走るコツなどを詳しく教えてくださり、休日以外もそのことを意識して意欲的に取り組むようになった。
- 質問したときには、わかりやすく丁寧に教えてくださったおかげで、しっかりと理解できるようになり、自分の力になった。
- 地域クラブで教わったことや今までやってきたことを無駄にしないようにたくさん活用していきたい。
- もっとレベルの高いアドバイスがもらえるとよかった。

令和6年度 事後アンケートの結果から（保護者）

(n = 66)

休日の部活動に参加させた満足度



○子供が楽しみにしていた。自主練を行うなど、能動的に取り組むようになったと思う。

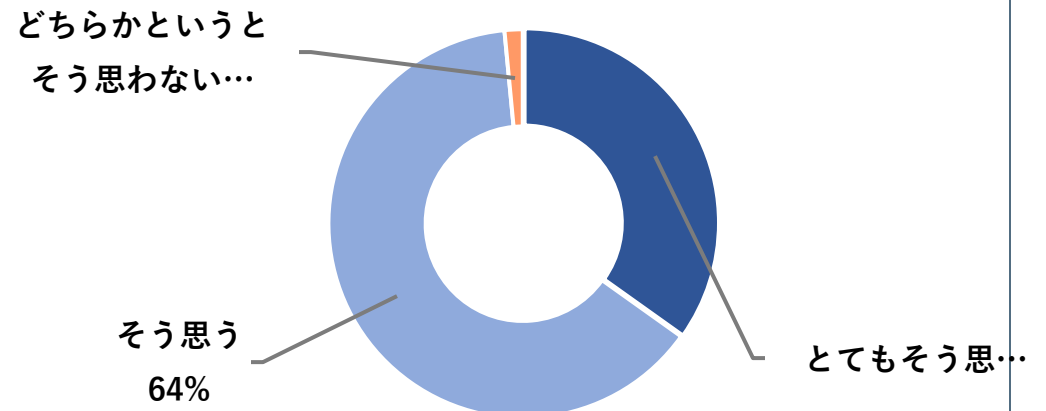
○大変熱心に指導していただいて、いい刺激になったと感じている。

○「経験者だからこそできる指導を受けることができた」と聞いているので、高く評価している。

○楽しかった、指導内容が良かった、また指導を受けたいと子どもが話していた。

●期間が短いため、一年を通してやってもらいたい。

外部指導者に安心して指導を任せられた



○最初に指導者との顔合わせやアプリでのプロフィールの紹介があり、どんな方に指導いただけるかが確認できた。

○一度、学校での練習を見学したが、基本的なことから丁寧に教えてくださっていたことが印象的だった。

○出欠連絡や一ヶ月の予定確認もアプリででき、一度部活を忘れていた際も電話連絡をして対応してくださった。

○移動時に、指導者も一緒に自転車で併走していただけて安心できた。

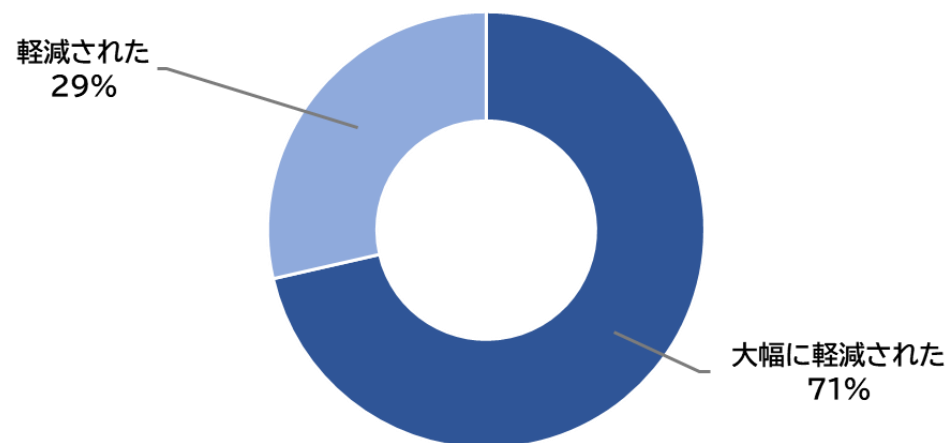
●子供の話だけでは様子が分からないため、活動報告があるとよい。

アンケート結果・参加者の声

令和6年度 事後アンケートの結果から（顧問）

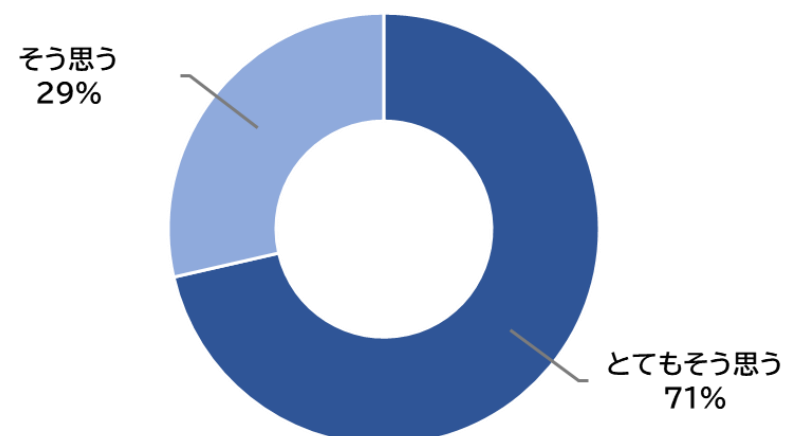
(n = 7)

休日の部活動業務がなくなり、
負担は軽減されたか



- 土曜も家族の時間として使えるようになった。
- 休日2日間が自由に使えるようになった。教員になって初めてこんなに自分の時間が確保でき、とても感謝している。
- 休日を自分や家庭の時間に使うことができたから。
- 連絡網ツールに登録していなかった保護者について、学校側から連絡が必要になることがあった。

来年度も地域部活動推進事業を
実施したいか



- 普段の部活動で私たちが教えられないことを講師に教えていただくことができた。
- 平日の練習にも、休日に教えていただいたメニューを取り入れたいと生徒から申し出があり、意欲の高まりを感じた。
- 平日は先生、休日はコーチとハイブリッドのやり方もありだなと感じた。
- メールで翌月の予定をやりとりしたり、練習でなにかあったときに連絡をくださったりと情報共有がしやすかった。
- 子供たちが基礎・基本を身に付ける早い段階から開始できたらもっとよかった。

2.実証内容と成果

参考資料（活動写真）

【美笹中学校 男子卓球部】
11/11人登録



○練習試合を実施
(顧問が日程調整、外部指導者が引率・指導)



【喜沢中学校 男子卓球部】
18/20人登録



【美笹中学校 剣道部】
10/10人登録



○有段者による指導
○合同練習や練習試合の実施



【喜沢中学校 剣道部】
14/14人登録



2.実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【新曽中学校 陸上競技部】

59/71名登録

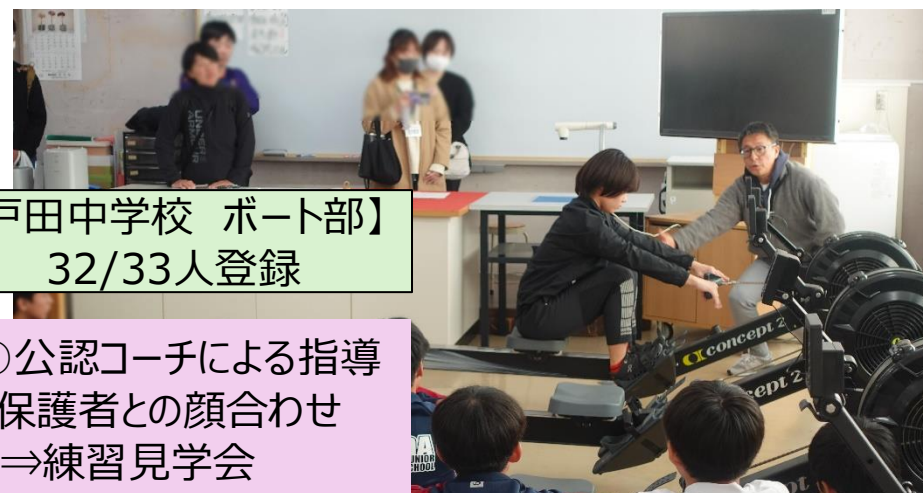
- 種目別の指導
- ・短距離/長距離
- ・跳躍や投擲も指導可



【戸田中学校 ボート部】

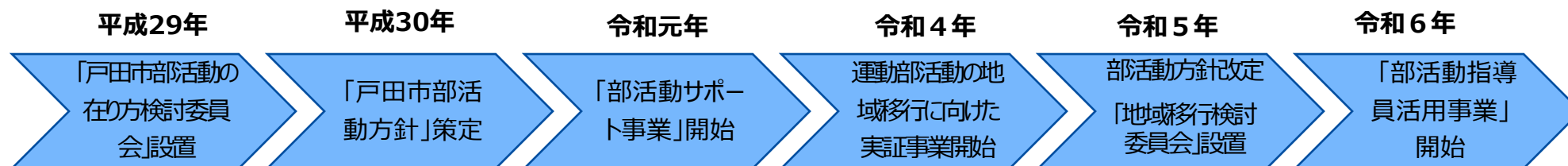
32/33人登録

- 公認コーチによる指導
- ・保護者との顔合わせ
- ⇒練習見学会



2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



【課題】

- 練習の長時間化
- 休日の活動回数の増加

【取組】

- 平成29年「戸田市部活動の在り方検討委員会」設置
 - ・部活動に関するアンケートの実施
(生徒、保護者、教員、校長、部活動外部指導者)
 - ・パブリックコメントの実施
- 平成30年「戸田市部活動方針」策定



【課題】

- 部活動の「量から質」への転換
- エビデンスに基づくトレーニングの実現
- 部活動顧問の負担軽減

【取組】

- 令和元年「部活動サポート事業」開始
 - ・民間事業者へ委託
 - ・希望があった部活動へ専門の指導者を派遣
 - ・指導計画づくりについて顧問へアドバイス
 - ・指導場面でのサポート
- (※地域住民による外部ボランティアは継続)



令和元年8月 運動部活動指導者研修会
講師: 日本体育大学体育学部教授 杉田 正明 氏

【課題】

- これまでの「当たり前」の見直しの必要性
- 休日の地域クラブ活動への移行の必要性

【取組】

- 令和4年～6年「運動部活動の地域移行に向けた実証事業」実施
 - ・令和4年度 1校2部活動
 - ・令和5年度 3校4部活動
 - ・令和6年度 4校6部活動へ拡大
- 令和5年「戸田市部活動方針」の改定
 - ・県の指針に準拠した内容に改定
- 令和5年「戸田市立中学校における部活動の地域移行及び地域連携に係る検討委員会」設置



令和6年「部活動指導員活用事業」開始

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ					
		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
部活動 (運動・文化)	平日	従来通り	従来通り	従来通り	従来通り
	休日	8つの運動部活動 で休日活動なし (年間)	休日部活動の 縮小	夏季休業明けの 新体制から 休日部活動なし	休日部活動なし
地域クラブ	休日	8つの運動部活動を 地域クラブへ (年間) ※一部受益者負担	地域クラブの 拡大 ※受益者負担 (補助の有無は未定)	夏季休業明けの 新体制から 地域クラブで実施 ※受益者負担 (補助の有無は未定)	地域クラブの 全面実施 ※受益者負担 (補助の有無は未定)
R7入学 現小6		入学		3年時の引退まで 部活動として活動	
R8入学 現小5			入学	2年時の新体制から 休日は地域クラブで活動	
R9入学 現小4				1年時の新体制から 休日は地域クラブで活動	
R10入学 現小3	※令和6年度時点での学年				入学 入学時から 休日は地域クラブで活動

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

埼玉県 久喜市

自治体名：埼玉県久喜市

担当課名：久喜市教育委員会教育部指導課

電話番号：0480-58-1111

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	82.41 km ²
人口	150,894 人
公立中学校数	10 校
公立中学校生徒数	3,387 人
部活動数	10 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

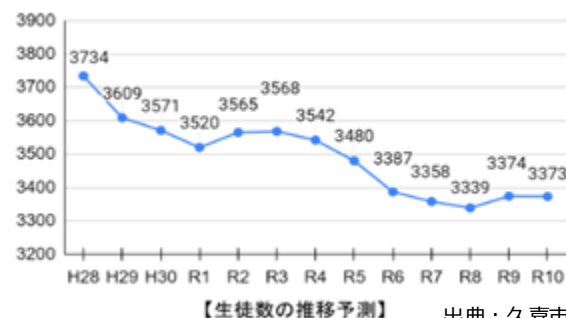
令和 7 年 2 月末日現在において、休日に部活動として活動している団体が 115、地域クラブに移行した団体が 23（活動実績のないところも含めると 27）であり、地域移行率は約 20% に留まっている。地域人材を指導者とする地域クラブについては、19 クラブまで増加したものの、教職員が指導者となる地域クラブについては 1 クラブのみとなっている。

また、全校を対象とする新たな地域クラブが 5 クラブ、複数校を対象とする地域クラブが 3 クラブ設置されたことで、自校の部活動には設置のない活動や、これまで部活動になかった活動に参加できるようになり、生徒の選択肢が拡大した。

【課題】

生徒の健全育成という目的を踏まえ、ある程度専門的な指導ができる指導者の確保が課題である。この解決に向けては、さらなる地域人材の発掘はもちろん、すでに指導実績を有する既存の団体の助力を得ることや、部活動の指導者として実績を有する教職員が地域クラブの指導者となっていく方策をとる必要があるものとする。

また、地域クラブの数が増加するにつれ、活動場所の確保が課題となってきている。この解決に向けては、学校施設の優先利用についてのルールを定め、安全管理上の問題を解決することが必要である。



出典：久喜市中学校地域クラブ活動推進計画

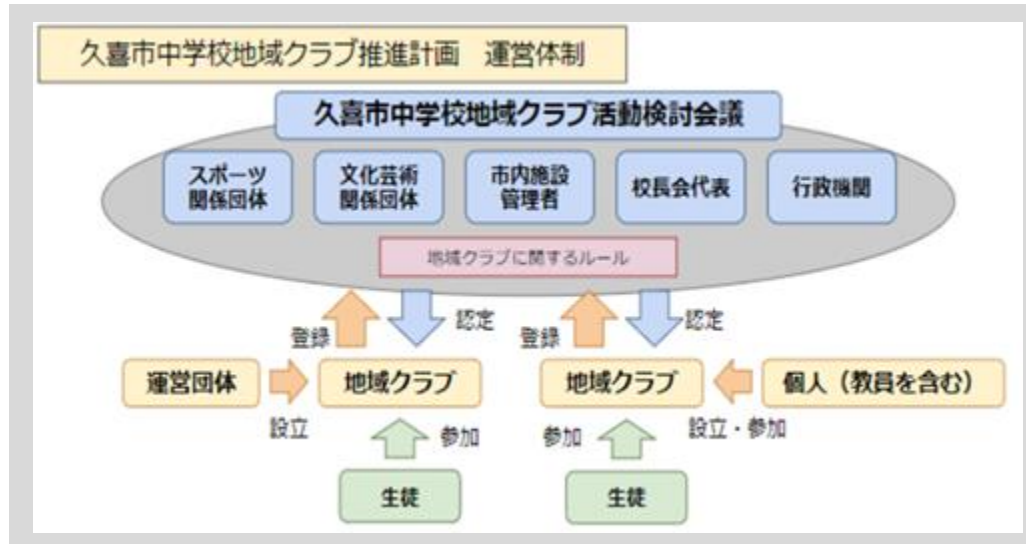
休日の部活動が地域移行された場合、地域活動の指導者として指導することを希望しますか。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・指導課：久喜市生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動実現プランの策定・刷新等実現を目指す
久喜市中学校地域クラブ活動推進会議の事務局を担う

◎首長部局

- ・スポーツ振興課：久喜市中学校地域クラブ活動推進会議の事務局
地域スポーツ活動の環境整備
- ・文化振興課：地域文化活動の環境整備

年間の事業スケジュール

日程	内容
令和6年 4月	すべての学校で地域クラブ活動（1クラブ以上）の実施を目指す等の方針を市内中学校長へ示す
令和6年 5月	教員の兼職・兼業による地域クラブ活動について検討を進める
令和6年 6月	外部指導者等の募集を継続する
令和6年 8月	推進会議委員の調整をする
令和7年 1月	久喜市中学校地域クラブ活動推進会議1回目を開催する 各中学校の入学説明会にて地域クラブ活動についての説明をおこなう
令和7年 2月	部活動サイトを公開する アンケートを実施する
令和7年 3月	久喜市中学校地域クラブ活動推進会議2回目を開催する

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	10校	実施した地域クラブ総数	21クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		18クラブ（20部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ （新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		3クラブ
全体の指導者数	24人	全体の運営スタッフ数	0人

②各クラブに関すること

中学校名	クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
市内全中学校	サッカークラブ	久喜市地域クラブ	サッカー	・毎週土曜日	14:00～ 16:00	1年8名 2年2名	R6.8～R7.3	3名		市が負担	
鷺宮中	卓球クラブ	久喜市地域クラブ	卓球	土日どちらか	3時間程度	1年9名 2年8名	R6.6～R7.3	1名		市が負担	中体連：部活動 その他：地域クラブ
久喜南中	バスケットボールクラブ	久喜市地域クラブ	バスケットボール	土日どちらか	3時間程度	1年11名 2年7名	R6.6～R7.3	2名	1名	市が負担	中体連：部活動 その他：地域クラブ
栗橋西中	バスケットボールクラブ	久喜市地域クラブ	バスケットボール	土日どちらか	3時間程度	1年16名 2年8名	R6.6～R7.3	4名	1名	市が負担	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

中学校名	クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
栗橋東中	バレーボールクラブ	久喜市地域クラブ	バレーボール	土日どちらか	3時間程度	1年3名 2年4名	R6.6～R7.3	1名		市が負担	中体連：部活動 その他：地域クラブ
太東中	ソフトテニスクラブ	久喜市地域クラブ	ソフトテニス	土日どちらか	3時間程度	1年5名 2年10名	R6.8～R7.3	3名		市が負担	中体連：部活動 その他：地域クラブ
久喜南中	ソフトテニスクラブ	久喜市地域クラブ	ソフトテニス	土日どちらか	3時間程度	1年11名 2年7名	R6.8～R7.3	1名		市が負担	中体連：部活動 その他：地域クラブ
栗橋西中	バレーボールクラブ	久喜市地域クラブ	バレーボール	土日どちらか	3時間程度	1年4名 2年9名	R6.7～R7.3	2名		市が負担	中体連：部活動 その他：地域クラブ
久喜東中	バレーボールクラブ	久喜市地域クラブ	バレーボール	土日どちらか	3時間程度	1年11名 2年4名	R6.8～R7.3	1名		市が負担	中体連：部活動 その他：地域クラブ
久喜中	バレーボールクラブ	久喜市地域クラブ	バレーボール	土日どちらか	3時間程度	1年6名 2年3名	R6.10～R7.3	1名		市が負担	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

中学校名	クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
市内全中学校	ダンスクラブ	久喜市地域クラブ	ダンス	土日どちらか	3時間程度	2年2名	R6.9～R7.3	1名		市が負担	
市内全中学校	トランポリンクラブ	久喜市地域クラブ	トランポリン	土日どちらか	3時間程度	募集中	R6.11～R7.3	1名		市が負担	
栗橋西中	剣道クラブ	久喜市地域クラブ	剣道	土日どちらか	3時間程度	2年3名	R7.1～R7.3	4名		市が負担	中体連：部活動 その他：地域クラブ

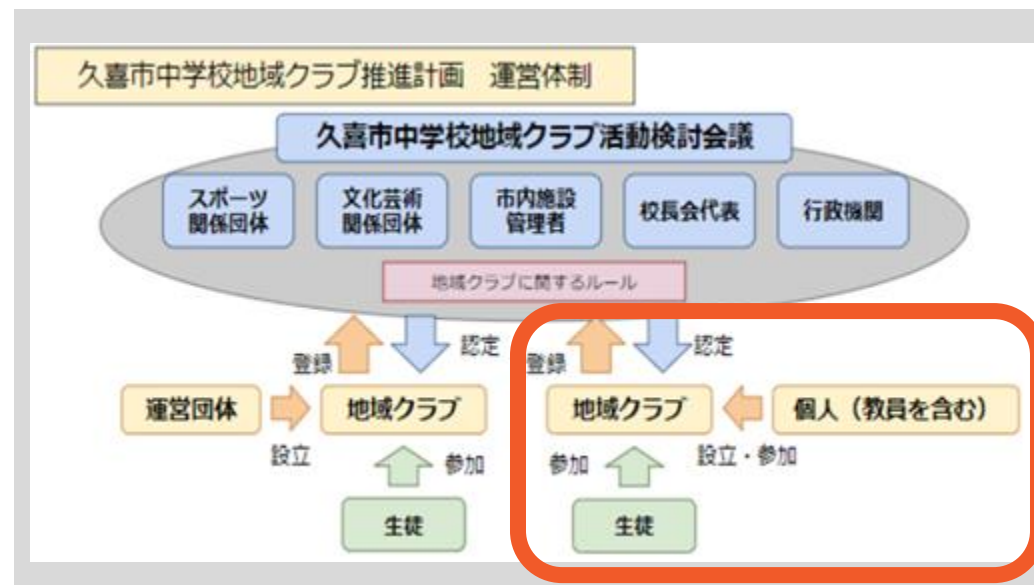
2.実証内容と成果

主な取組例

●久喜地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、卓球、ソフトテニス、バスケ、トボール、バレーボール、剣道
運営団体名	久喜市教育委員会
期間と日数	月4回程度
指導者の主な属性	スポーツ少年団、保護者等
活動場所	久喜市内中学校グラウンド・体育館
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	久喜市負担
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- ・指導者：久喜市が委嘱した指導者が指導している。
1クラブにつき、1名～4名で活動している。

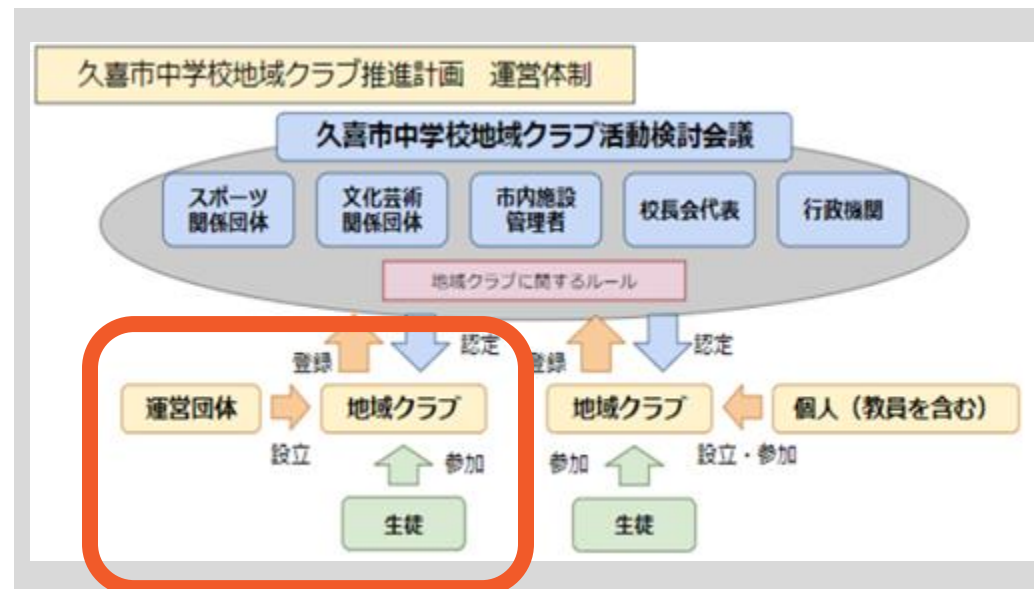
2.実証内容と成果

主な取組例

●ダンスクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ダンス
運営団体名	シンコースポーツ、久喜市教育委員会
期間と日数	月4回程度
指導者の主な属性	シンコースポーツ
活動場所	久喜市栗橋B&G海洋センター
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	久喜市負担
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- ・久喜市がシンコースポーツへ再々委託している。
- ・ダンスの指導者は1名。
- ・活動場所は、栗橋B&G海洋センター内第2体育館

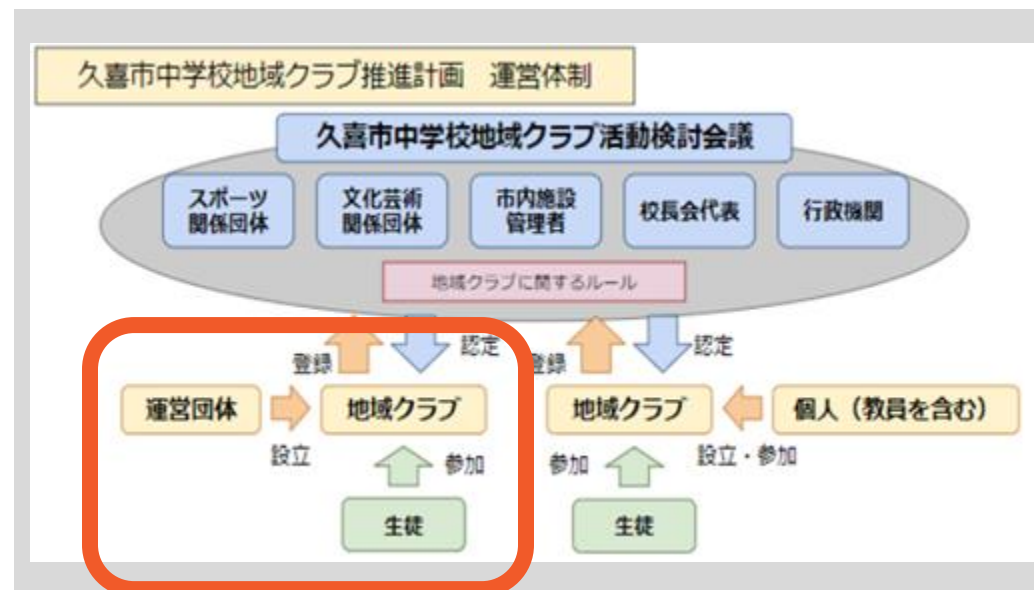
2.実証内容と成果

主な取組例

●トランポリンクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	トランポリン
運営団体名	Enjoyjump、久喜市教育委員会
期間と日数	月4回程度
指導者の主な属性	Enjoyjump
活動場所	コアビレッジ体育館
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	久喜市負担
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- ・久喜市がEnjoyjumpへ再々委託している。
- ・ダンスの指導者は1名。
- ・活動場所は、コアビレッジ（旧久喜市立江面第二小学校体育館）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

日程	内容
令和6年 4月	すべての学校で地域クラブ活動（1クラブ以上）の実施を目指す等の方針を市内中学校長へ示す
令和6年 5月	教員の兼職・兼業による地域クラブ活動について検討を進める
令和6年 6月	外部指導者等の募集を継続する
令和6年 8月	推進会議委員の調整をする
令和7年 1月	久喜市中学校地域クラブ活動推進会議1回目を開催する 各中学校の入学説明会にて地域クラブ活動についての説明をおこなう
令和7年 2月	部活動サイトを公開する アンケートを実施する
令和7年 3月	久喜市中学校地域クラブ活動推進会議2回目を開催する

○久喜市中学校地域クラブ活動推進会議

推進計画に基づき、地域クラブ活動の課題を検討し、円滑に地域クラブ活動が実施できるようにすることを目的として、地域スポーツ・文化芸術団体、学校関係者、市の担当課などで構成する「久喜市中学校地域クラブ活動推進会議」を設置した。

推進会議では、地域クラブ活動についての様々なルールを定め、地域移行に関する地域クラブについて明らかにします。また、地域クラブの団体や指導者について、活動・運営に係る費用についてなどの様々な事項について検討を行う。

推進会議は、「久喜市中学校地域クラブ活動推進会議規約」に基づき、活動を行います。

また、スポーツ、文化芸術のそれぞれの分野において検討が必要な場合は、スポーツ部会、文化芸術部会を設置します。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

- ・今年度においては、まず、各学校にて部活動指導員として活躍している方や、ボランティアで部活動を支えてくださっていた方、少年団等で指導されていた方に地域クラブの指導者となってもらった。
- ・市内のスポーツ協会の会議・スポーツ少年団の会議等に参加し、中学校地域クラブ活動についての周知・指導者、運営等への協力をお願いをしている。

指導者の人数

・24名

指導者の年齢構成

- ・20代 2名
- ・30代 1名
- ・40代 13名
- ・50代 2名
- ・60代 4名
- ・70代 2名

種目

- ・サッカー
- ・卓球
- ・バスケットボール
- ・バレーボール
- ・ソフトテニス
- ・剣道
- ・ダンス
- ・トランポリン

資格有無

- ・特になし

取組の成果

- ・令和5年度からは地域クラブの数は増加したが、指導者の確保・地域クラブの受け皿の確保はまだ課題である。
- ・地域クラブ活動における指導者確保は重要な課題であり、兼職兼業を希望する教員の存在は貴重な資源となる。教員が地域クラブで指導を行うための手続きを円滑に進めるための説明資料をスライドにまとめ、サイト等で周知も図る。それによりR7年度は兼職兼業で指導者として活動可能な教員を増やしたい。

学校職員が地域クラブ活動に従事する場合の手続きについて

久喜市教育委員会では、これまで部活動が挙げてきた実績や指導技術等を生かすため、**学校職員の皆様が地域クラブ活動において指導者として活躍できる体制**を用意します。

手続きの流れ

- ①「**地域クラブ活動指導者申込書**」及び「**兼職兼業許可願**」を提出
 - ※指導課から、委嘱決定の連絡が来るを待つ
- ②指導課から「**委嘱決定通知**」が届いたら、参加者の募集を行う
 - ※
- ③参加者が決まったら、参加者名簿を提出
 - ※指導課から、保険契約完了の連絡が来るのを待つ
- ④指導課から保険契約完了の連絡が来たら、活動開始

※地域クラブ活動に従事する場合の兼職兼業についての詳細はこちら

地域クラブ活動による謝礼が**年間に20万円を超えた場合**、「**確定申告**」が必要です！

- ①兼職兼業に係る雑所得の金額を計算
 - ※
- ②下記サイトから確定申告書を作成・送信
 - ※ [確定申告書等作成コーナー（国税庁）](#)
- ③税金を納付

【参考資料】
 ・ [スマホで確定申告（影響編）（pdf）](#)
 ・ [自宅でできる確定申告（youtube動画）](#)

地域クラブ活動による謝礼が**年間に20万円以下の場合**は、お住まいの市町村で、**市・県民税の申告**が必要です！

毎月の明細の写しを持参し、市民税課（久喜市の場合）で申告する（案内に従って書類を作成する）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

・指導者には、久喜市が委嘱する際に、「久喜市中学校地域クラブ活動実施要領」より、地域クラブの理念、組織体制、ルール、指導者の留意点、緊急時の対応、基本的な指導の心得などに関する基礎研修を実施した。

特に、指導にあたり、「久喜市中学校部活動ガイドライン」を踏まえ、部活動の教育的意義を理解するとともに、部活動の担当者との間で活動方針や活動状況について情報共有を綿密に行い、共通理解を図ること。また、発達段階に応じた系統性のある指導に努め、勝利至上主義・成果主義にならないように留意することとしている。

受講者の声

中学2年生（地域クラブ「ダンスクラブ」）

・もともとダンス部に入りたい思いがあったけど、学校にはなく困っていました。今回、地域クラブとして募集があったので入りたいと思いました。

中学2年生（地域クラブ「ダンスクラブ」）

現在、美術部に入っていますが、なかなか体を動かす機会がないので、活動に参加して体力がついてよいと感じています。

中学1年生（地域クラブ「ソフトテニスクラブ」）

コーチがいなかった時と比べ、練習内容もレベルアップしていて、みんなも成長できているとおもいます。

保護者（地域クラブ「サッカークラブ」）

他校の生徒とコミュニケーションをとることができたりして、楽しそうに活動しています。保護者同士も情報を交換して刺激を受けています。

コーチの方々に対しても感謝しています。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項 【兼職・兼業についてまとめたスライド】

学校職員が地域クラブ活動に従事する場合の手続きについて

久喜市教育委員会では、これまで部活動が挙げてきた実績や指導技術等を生かすため、**学校職員の皆様が地域クラブ活動において指導者として活躍できる体制**を用意します。

手続きの流れ

- ①「[地域クラブ活動指導者申込書](#)」及び「[兼職兼業許可願](#)」を提出
↓ 指導課から、委嘱決定の連絡が来るを待つ
- ②指導課から「委嘱決定通知」が届いたら、参加者の募集を行う
↓
- ③参加者が決まったら、参加者名簿を提出
↓ 指導課から、保険契約完了の連絡が来るのを待つ
- ④指導課から保険契約完了の連絡が来たら、活動開始

※[地域クラブ活動に従事する場合の兼職兼業について](#)の詳細はこちら

地域クラブ活動による謝礼が**年間に20万円を超えた場合**、「**確定申告**」が必要です！

- ①兼職兼業に係る雑所得の金額を計算
↓
- ②下記サイトから確定申告書を作成・送信
↓ [確定申告書等作成コーナー（国税庁）](#)
- ③税金を納付

スマホからでも
できます！

【参考資料】

- ・[スマホで確定申告（副業編）（pdf）](#)
- ・[自宅でできる確定申告（youtube動画）](#)

地域クラブ活動による謝礼が**年間に20万円以下**の場合は、お住まいの市町村で、**市・県民税の申告**が必要です！

毎月の明細の写しを持参し、市民税課（久喜市の場合）で申告する（案内に従って書類を作成する）

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和5年度より県の実証事業に参加し、取り組みを進め、令和5年10月に4クラブが実証を開始いたしました。

令和6年1月には久喜市の「休日の部活動」地域移行に掛る基本方針を策定し、令和8年に休日の部活動の全面移行を目指してまいりました。そして令和6年度は合計9つのクラブがスタート致しました。

今年度については、4月に「久喜市生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動実現プラン」を策定し、新たなクラブの設立を進めております。加えまして、前回ご意見いただきました周知活動につきまして、久喜市スポーツ少年団への協力依頼、学校職員が地域クラブに従事する場合の手続きの周知、学校関係者向けのサイトの設立等を行い、関係各所への周知を進めることができました。

●成果の評価

・現状としては、令和7年2月末日現在において、休日に部活動として活動している団体が115、地域クラブに移行した団体が23（活動実績のないところも含めると27）であり、地域移行率は約20%に留まっております。

地域人材を指導者とする地域クラブについては19クラブまで増加したものの、教職員が指導者となる地域クラブについては文化部の1クラブのみとなっています。

・市内全校を対象とする新たな地域クラブが5クラブ（スポーツ3、文化2）、複数校を対象とする地域クラブが3クラブ設置されたことで、自校の部活動には設置のない活動や、これまで部活動になかった活動に参加できるようになり、生徒の選択肢が拡大しました。

●今後に向けて

令和7年度については、4月に「久喜市生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動実現プラン」を策定し、新たなクラブの設立を進めてまいります。

加えて、周知活動につきまして、久喜市スポーツ少年団への協力依頼、学校職員が地域クラブに従事する場合の手続きの周知、学校関係者向けのサイトの設立等を行い、関係各所への周知を進めていきます。

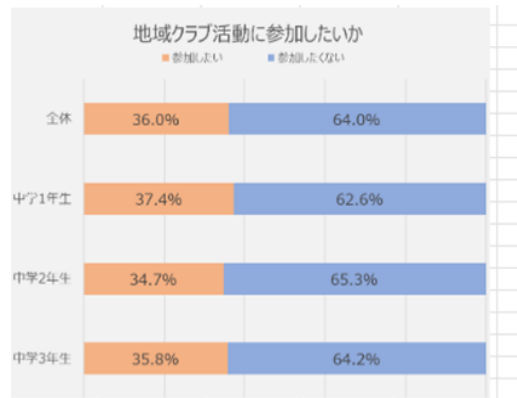
また、今後への具体的な内容を策定していく上で、定期的に推進会議を開催し、ご意見をいただきながら、ルール等を策定していく。

2.実証内容と成果②

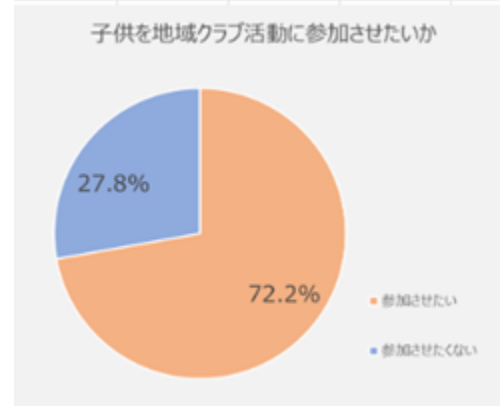
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

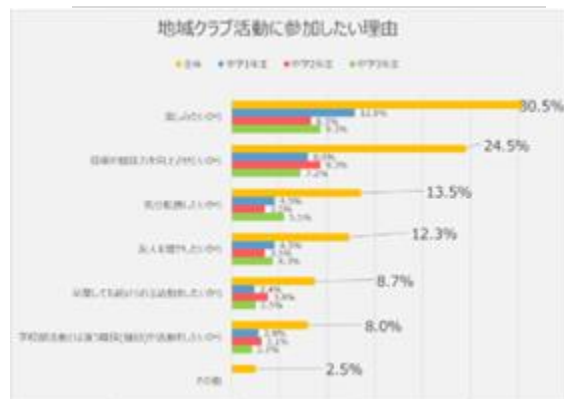
Q.地域クラブに移行しても参加したいですか？（生徒）



Q.子どもを地域クラブに参加させたいか？（保護者）



Q.参加したい理由は？（生徒）



Q.子どもを地域クラブに参加させたい理由は？



出典：久喜市

●参加者の声

中学2年生（地域クラブ「ダンスクラブ」）

もともとダンス部に入りたい思いがあったけど、学校にはなく困っていました。今回、地域クラブとして募集があったので入りたいと思いました。

中学2年生（地域クラブ「ダンスクラブ」）

現在、美術部に入っていますが、なかなか体を動かす機会がないので、活動に参加して体力がついてよいと感じています。

中学1年生（地域クラブ「ソフトテニスクラブ」）

コーチがいなかった時と比べ、練習内容もレベルアップしていて、みんなも成長できていると思います。

保護者（地域クラブ「サッカークラブ」）

他校の生徒とコミュニケーションをとることができたりして、楽しそうに活動しています。保護者同士も情報を交換して刺激を受けています。

コーチの方々に対しても感謝しています。

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

○市内全域に募集可能なクラブは、チラシを1人1台端末で市内全中学生徒に周知。
申し込みも、端末から申し込みできるしくみを作成。

**R6久喜市地域クラブ活動
参加生徒募集!**

初心者
大歓迎

広域地域クラブ活動開設
サッカー好き集まれ!

サッカーしようぜ!

- ・市内中学生でサッカー好きの方!
- ・初心者大歓迎!
- ・所属している部活動は問いません。

【活動日】土曜日または日曜日
【主な活動場所】鷺宮中学校
【参加費】無料(実施に係る経費・保険加入料は市が負担します)

【申込み方法】
参加申込書(様式第1号)を学校の先生に提出してください。
1次が締め1/31(金)とします。
※その後の参加希望は学校の先生に相談してください。

【お問い合わせ先】
☎ 0480-58-1111
久喜市教育委員会
指導課指導係

申込み先
チラシコード

【生徒への参加啓発チラシ：サッカークラブ】

【生徒への参加啓発チラシ：トランポリンクラブ】

**トランポリンクラブ
参加者募集**

【久喜市中学校トランポリンクラブ】開校にあたり、
1月・2月に体験会を開催します。
4月に中学校へ入学する小学5年生も参加できます!
トランポリン、やってみませんか?
新緑を跳んで、楽しくジャンプしよう!

久喜市中学校トランポリンクラブの特徴

- ・運動にない
新たな競技
実技の授業にない
新しい競技です。スプリ
ングの反発力を利用し、空
中を高く飛び、様々な技
をこなすことが出来ます。
- ・充実した
設備が完備
市内唯一、トランポリン
の設備が完備されたコ
レな施設です。安全な
マットで安心して楽し
めます。

対象 市内小学5年生～中学2年生まで
定員 各回とも20名(定員になり次第、受付を終了します)
会場 CORE Village 体育館 (旧江島第二小学校)
参加費 無料
持ち物 上着、タオル、飲み物
服装 ボタン・チャック・フードのない運動に適した服装
(学校の体育着で構いません) 靴下必須

体験会開催
定員を超過します。1回だけでも
8回すべてに参加してもOKです!

1月11日(土) 18日(土) 25日(土)
2月1日(土) 8日(土) 15日(土)
時間: 各日とも15:00～16:30

お問い合わせ先
☎ 0480-58-1111
久喜市教育委員会指導課指導係

※体験クラブ活動は学校管理下となり、
スポーツ保険センターの保険が適用され
ないため、別途保険に加入します。
なお、保険料の負担はございません。

体験会の申込は
コチラから

【生徒への参加啓発チラシ：ダンスクラブ】

LET'S DANCE!!

Dance club

中学校地域クラブ活動

メンバー
募集中。

初心者大歓迎!
一緒にダンスを
楽しもう!

講師: 黒田(くろだ)
ダンス指導歴: 14年

【対象】市内中学校1・2年生
【活動日】10月～2月までの土曜日もしくは日曜日
※初日は10/5(土)16:30～18:00
【活動場所】栗橋B&G海洋センター 第二体育館
【定員】20名※定員になり次第、受付終了
【持ち物】室内シューズ・飲み物

※市の委託事業となります。
保険料・参加費はかかりません。

お問い合わせ先: 栗橋B&G海洋センター ☎0480-52-5510

出典:久喜市

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【ダンスクラブ】



【ソフトテニスクラブ】



【サッカークラブ】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

推進イメージ

まず、休日の活動についてパターン1・2・3を実現する。
平日の活動については、社会の動向を注視しつつ、検討を継続する。

パターン1 現在ある部活動の「隙間」を埋める地域クラブ活動を設立・導入

目標：30クラブ

パターン2 現在ある部活動の内、地域クラブ移行が「適」と判断される活動を移行

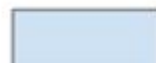
目標：50クラブ

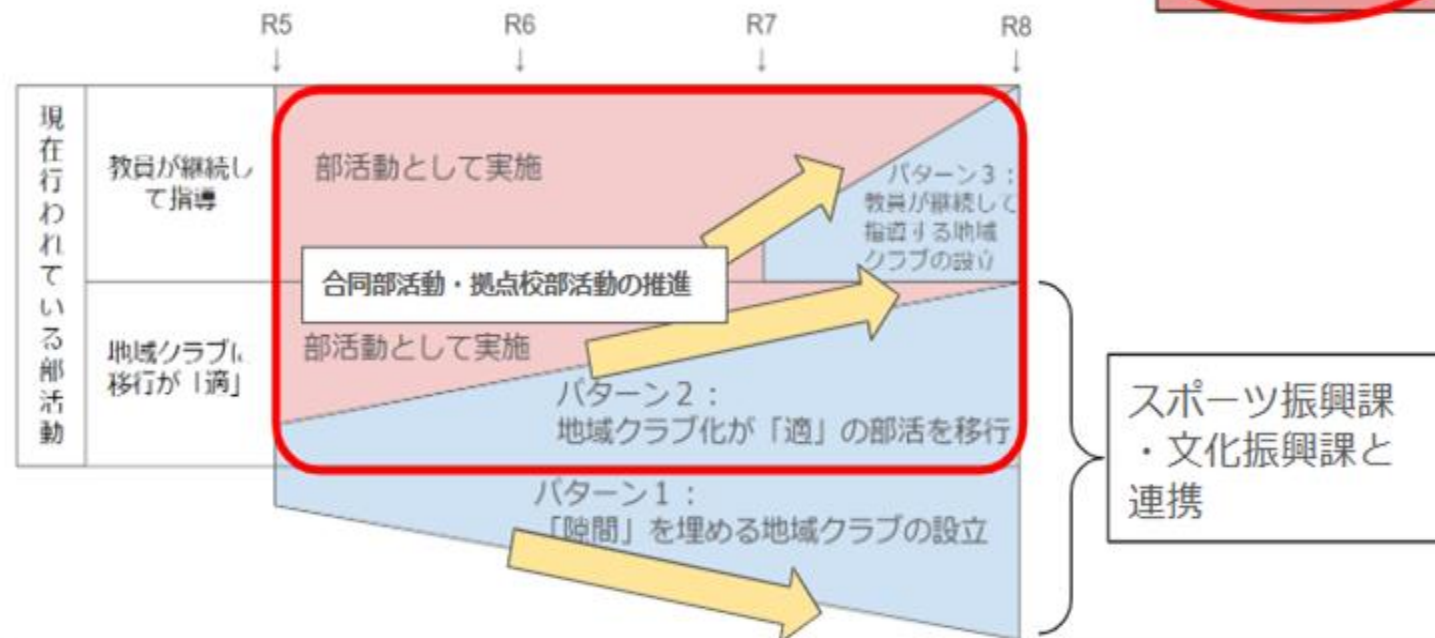
パターン3 現在ある部活動の内、教員が継続して指導する地域クラブを設立

目標：20クラブ

併せて
「合同部活動」
「拠点校部活動化」
を推進

 = 部活動として実施

 = 地域クラブとして実施



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



広報資料

取組事項

・関連する情報を
集約したサイトを
開設

久喜市部活動地域移行サイト

ホーム 現在の進捗状況 地域クラブ 各関係団体 地域クラブ指導者用

久喜市部活動地域移行サイト

- 久喜市生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動実現プラン -

現在の進捗状況

地域クラブ移行 現在の状況 2023.01.31現在

部活動	移行先	移行先	移行先	移行先	移行先	移行先	移行先	移行先	移行先	移行先
サッカー	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
バスケットボール	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
バレーボール	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
ソフトテニス	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
卓球	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
剣道	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
バドミントン	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
陸上競技	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
野球	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
ソフトテニス	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
卓球	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
剣道	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
バドミントン	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
陸上競技	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
野球	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域

設立した地域クラブを一覧化

分野	種別(性別)	実施対象	クラブ名	実施団体	部活動の所属	指導者の氏名
サッカー	男子	市内全域	サッカークラブ	久喜市サッカー協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
バスケットボール	男子	市内全域	バスケットボールクラブ	久喜市バスケットボール協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
バレーボール	男子	市内全域	バレーボールクラブ	久喜市バレーボール協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
ソフトテニス	男子	市内全域	ソフトテニスクラブ	久喜市ソフトテニス協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
卓球	男子	市内全域	卓球クラブ	久喜市卓球協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
剣道	男子	市内全域	剣道クラブ	久喜市剣道協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
バドミントン	男子	市内全域	バドミントンクラブ	久喜市バドミントン協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
陸上競技	男子	市内全域	陸上競技クラブ	久喜市陸上競技協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
野球	男子	市内全域	野球クラブ	久喜市野球協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
ソフトテニス	女子	市内全域	ソフトテニスクラブ	久喜市ソフトテニス協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
卓球	女子	市内全域	卓球クラブ	久喜市卓球協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
バレーボール	女子	市内全域	バレーボールクラブ	久喜市バレーボール協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
バスケットボール	女子	市内全域	バスケットボールクラブ	久喜市バスケットボール協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
サッカー	女子	市内全域	サッカークラブ	久喜市サッカー協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
ソフトテニス	男子	市内全域	ソフトテニスクラブ	久喜市ソフトテニス協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
卓球	男子	市内全域	卓球クラブ	久喜市卓球協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
剣道	男子	市内全域	剣道クラブ	久喜市剣道協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
バドミントン	男子	市内全域	バドミントンクラブ	久喜市バドミントン協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
陸上競技	男子	市内全域	陸上競技クラブ	久喜市陸上競技協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者
野球	男子	市内全域	野球クラブ	久喜市野球協会	久喜市立中学校、久喜市立小学校	指導者

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

広報資料

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

久喜市生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動実現プラン

久喜市中学校地域クラブ推進計画の理解を進めるための周知

校長・教頭会での説明資料、動画の周知

教職員向け説明資料 等

説明資料

久喜市生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動実現プラン

【説明内容】

- 1 部活動を取り巻く状況
- 2 久喜市の推進計画
- 3 久喜市の中学生向け「地域クラブ」について

学校職員が地域クラブ活動に従事する場合の手続き

説明動画

指導者向け説明動画「久喜市生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動実現プラン」

久喜市は、全国的に有名なスポーツ・文化芸術活動の実績を誇る。その中でも、中学校の部活動は、生徒の成長に大きく貢献している。しかし、近年は部活動の廃止や縮小が進んでいる。久喜市では、部活動を維持・発展させるために、地域クラブを導入する。地域クラブとは、部活動と連携して、地域社会と連携して活動を行う仕組みである。久喜市では、地域クラブを導入することで、部活動を維持・発展させることができる。また、地域クラブを導入することで、生徒の成長に大きく貢献することができる。久喜市では、地域クラブを導入することで、部活動を維持・発展させることができる。また、地域クラブを導入することで、生徒の成長に大きく貢献することができる。

入学説明会・学校運営協議会等での説明資料・動画による周知

生徒・保護者向け資料

説明資料

久喜市生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動実現プラン

説明動画

今後の部活動の地域移行について【中学校新入生説明会用】

久喜市生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動実現プラン

久喜市の基本方針

目指すスポーツ・文化芸術活動 → 部活動として実施（今後、国や県の方針を踏まえて検討）

生徒が関わり続けられる活動に変わる部活動（今後、国や県の方針を踏まえて検討）

「合同部活動」、「拠点部活動」も可能

・やりがい・部活動の人数が少なくても、充実した活動ができる。 → 合同部活動との連携部活動を検討

・部活動の廃止にすりかえ、部活動の部活動がなくなる。 → 合同部活動との連携部活動を検討

休日のスポーツ・文化芸術活動

生徒が関わり続けられる活動に変わる部活動（今後、国や県の方針を踏まえて検討）

・学校下事業の休日の活動は、部活動に準じたクラブ活動

・学校下事業の休日の活動は、部活動に準じたクラブ活動

・学校下事業の休日の活動は、部活動に準じたクラブ活動

スポーツ少年団・スポーツ協会等での説明資料・動画による周知

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

埼玉県 三郷市

自治体名：埼玉県 三郷市

担当課名：三郷市教育委員会指導課

電話番号：048-930-7758

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	総面積30.22 km ²
人口	142,152 人
公立中学校数	8 校
公立中学校生徒数	10,702 人
部活動数	85 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

国や県と同様、本市においても、中学校の生徒数は将来的には減少傾向が見込まれており、現在の学校部活動をそのままの形で維持するのは難しく、生徒のニーズに応じたスポーツ・文化芸術活動の機会確保・環境整備を進めることが重要課題となっている。

令和 5 年 5 月に実施した市内中学校教職員対象「部活動の地域移行に関するアンケート」では、休日の部活動指導を「したくない」と回答した教職員は約半数に上った。同様に、休日に自分が担当する部活動を外部指導者に「任せたい」と回答した教職員は約半数に上った。

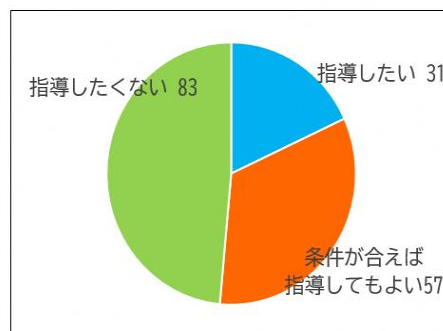
市の実情に応じた地域移行を円滑に進めるために、令和 6 年 7 月に第 1 回三郷市地域クラブ活動推進協議会を開催した。また、「部活動地域移行サポーター」も令和 6 年度より配置し、各種団体等との連絡・調整を密に行っている。

現在、「できるところから」を合言葉に、地域移行等のニーズがあり、ある程度の運営体制ができている種目について、「地域クラブ活動」や「拠点校部活動」を実施している。

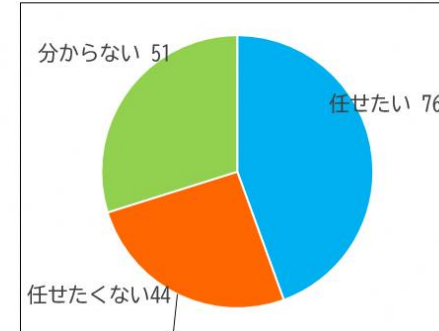
今後、市としての方向性、地域クラブ活動への移行の全体像について、国や県の動向を踏まえつつ明確にしていくことが課題である。

「部活動の地域移行に関するアンケート」令和 5 年 5 月実施・市内中学校教職員対象

Q. 休日（日曜日又は土曜日、祝日等）に行う部活動について、指導したいと思いますか。



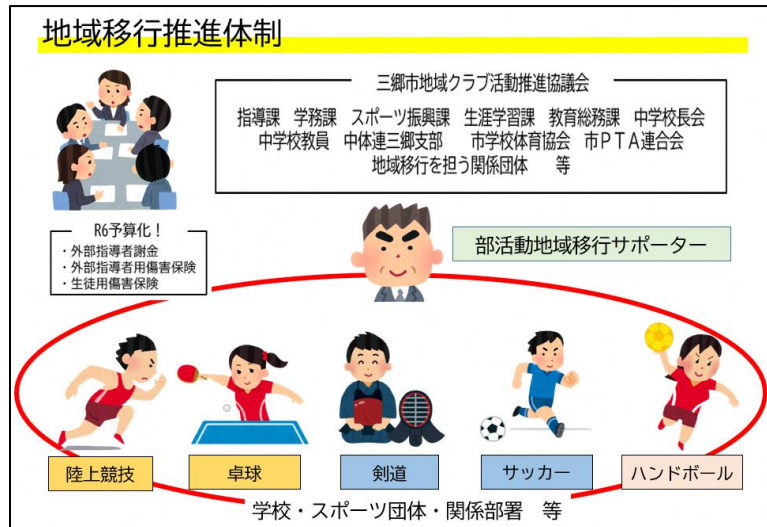
Q. 休日（日曜日又は土曜日、祝日等）に、外部指導者に自分の担当する部活動の指導を任せたいと思いますか。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（教育総務課、指導課、学務課、生涯学習課）

- ・推進協議会開催、部活動地域移行サポーターの配置、実施主体との連絡・調整
- ・謝金等対応、教職員の兼職・兼業対応
- ・外部指導者研修会の開催

◎首長部局（スポーツ振興課、市民活動支援課）

- ・外部指導者の確保
- ・人材バンク作成
- ・学校施設開放調整、活動環境整備

年間の事業スケジュール

令和6年 4月	部活動地域移行サポーター配置
令和6年 5月	生徒のニーズ調査（市内中学1・2年生対象）
令和6年 7月	第1回三郷市地域クラブ活動推進協議会開催
令和6年 7月	三郷市地域クラブ活動指導員公募
令和6年 9月	地域クラブ活動「陸上」開始
令和6年 10月	地域クラブ活動「卓球」開始
令和7年 3月	第2回三郷市地域クラブ活動推進協議会開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	8 校	実施した地域クラブ総数	2 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0 クラブ（0 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		2 クラブ
全体の指導者数	19 人	全体の運営スタッフ数	30 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
陸上競技クラブ	三郷市	陸上競技	月 1 回	8：30 ～ 12：00	135人 1年生70人 2年生56人 3年生 9人	R6.9月 ～ R7.3月	セナリオ ハウス フィールド 三郷	12 人	・教育委員会 事務局 9 名 ・指導者12人	なし	中体連、その他：部活動
卓球クラブ	三郷市	卓球	月 4 回	13：00 ～ 15：00	32人 1年生13人 2年生18人 3年生 1人	R6.10月 ～ R7.3月	学校 体育館 (2会場)	7 人	教育委員会 事務局 9 名 ・指導者 7 人	なし	中体連、その他：部活動

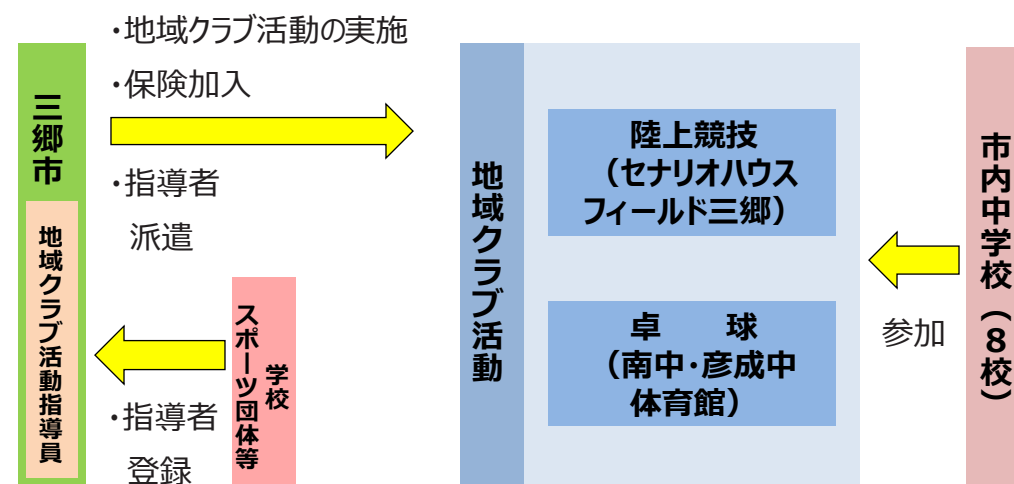
2.実証内容と成果

主な取組例

●三郷市地域クラブ活動 概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技、卓球
運営団体名	三郷市
期間と日数	陸上競技：9月～3月 月1回 卓球：10月～3月 月4回程度
指導者の主な属性	中学校教員、市陸上競技協会役員、 市卓球連盟役員
活動場所	陸上競技：セナリオハウスフィールド三郷 卓球：南中学校体育館 彦成中学校体育館
主な移動手段	自転車、保護者による送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年 ※指導者は年齢に応じて

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う

●指導者

役割：活動における指導者として、生徒への指導、当日の事故対応等を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○令和6年7月、第1回三郷市地域クラブ活動推進協議会を開催した。

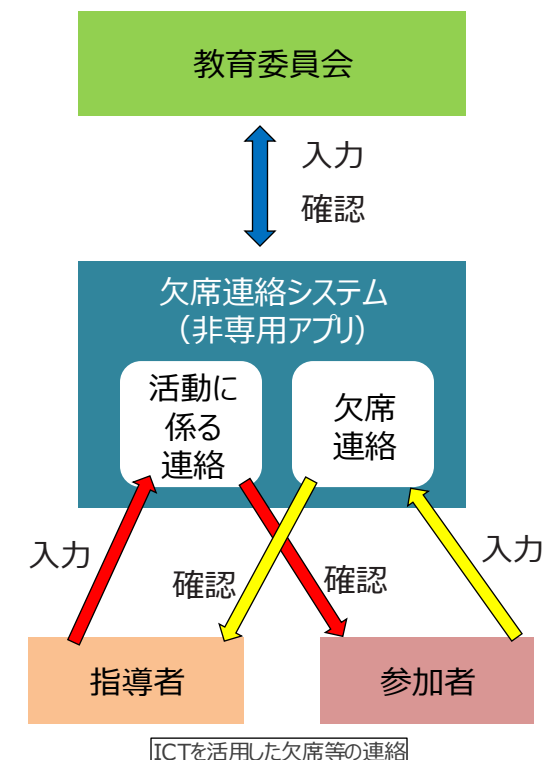
○運営主体は教育委員会指導課とし、実施主体と円滑な調整を図るため、コーディネーターとして指導課内に「部活動地域移行サポーター」を令和6年度より配置した。

取組の成果

○三郷市地域クラブ活動推進協議会の開催により、市中学校長会・県中体連三郷市部・市学校体育協会・市PTA連合会・関係各課との連携を図ることができた。

○推進協議会を通じて様々な視点からの意見を受け、事業の方向性を確認することができた。

○ICTの活用により、保護者からの欠席連絡、指導者による確認をスムーズに行うことができた。専用アプリを導入していないため、申込フォームの様式を応用した。



コーディネーターの具体的な動きの実績

「部活動地域移行サポーター」が各学校・団体・関係課との連絡調整を密に行うことで、事業を円滑に実施することができた。また、活動の様子を視察することで、活動状況や改善点、実施主体のニーズ等の把握から対応までをスムーズに行うことができた。

今後の課題と対応方針

- 三郷市地域クラブ活動推進協議会において、各団体、関係課が専門性をさらに発揮し、活動の充実を図る。
- 地域クラブ活動に係る連絡について、専用アプリの導入など、連絡体制の構築に向けて情報収集に努める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

○三郷市地域クラブ活動指導員設置要綱等に則り、学校推薦と公募による募集を実施し、採用に係る面接等により、指導者の質の保障に努めた。

○「三郷市地域クラブ活動指導員ハンドブック」を作成し、一人一人に配付した。

人材バンクの人数

25名

人材バンクの年齢構成

10代	0名
20代	6名
30代	2名
40代	4名
50代	6名
60代以上	7名

登録者属性

○職業

・中学校教員 10名

※ほかの登録者は、職業までは確認せず

○人材バンク周知方法

・学校長による推薦

・市HP等による広報

・市体育館への掲示

種目

・陸上競技

・卓球

・サッカー

・剣道

資格有無

資格の有無については把握していないが、書類・面接等を通じて、競技の専門性を確認した上で採用している。

指導者研修の内容

○三郷市地域クラブ活動指導員ハンドブックに基づき、部活動の意義との関連、各種ハラスメントの防止、負傷等の事故対応について説明した。

○部活動地域移行サポーターが定期的に活動場所を巡回し、活動の状況に即した指導・助言を行った。

三郷市地域クラブ活動指導員

ハンドブック



①三郷市立中学校 学校部活動及び地域クラブ活動の在り方に關するガイドライン
②【掲載】体罰・ハラスメントの防止、個人情報管理
③スポーツ事故対応ハンドブック
(独立行政法人日本スポーツ振興センター)

三郷市教育委員会

三郷市地域クラブ活動指導員ハンドブック

受講者の声

○活動をする上で大変参考になった。

○中学生に教える機会がなったので、どのように指導していけばよいのかを知ることができてよかった。

○部活動地域移行サポーターが来てくれて、実態に応じたアドバイスをくれるので参考になった。

今後の課題と対応方針等

●怪我の報告が1件あったが、適切に対応することができていた。

●展開する地域クラブ活動に応じた種目の募集を行った。今後、多様な種目の展開を図り、人材バンクを充実させていきたい。

●今回の募集では、実績のある指導者が集まったが、今後、様々な年齢、属性の人材が集まったときに、指導法等の研修も必要になると考える。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

○市内中学 1・2 年生を対象にアンケートを実施し、地域移行等のニーズの把握に努めた。

○地域クラブ活動「陸上競技」では、学校部活動で陸上競技部に所属している生徒を主な対象とし、活動を行った。セナリオハウスフィールド三郷という日本陸上競技連盟第3種公認陸上競技場を活動場所とし、各種目ごとに分かれて活動することで生徒がより専門的な技術を習得することができた。

○地域クラブ活動「卓球」では、会場を市内の北部と南部の2か所に設けることで、生徒がより通いやすいようにした。また、学校体育館を会場とすることで、会場費をかけずに、月に4回程度、安定的に実施することができた。

活動の詳細

項目	陸上競技	卓球
活動内容 (業務報告書より)	○棒高跳では、11月に実施した埼玉県中学校強化練習で指導した内容などを取り入れ指導した。6～8歩での基本練習(ポールの持ち方や突っ込み動作)を繰り返し指導した。	13:00 準備体操 13:10 初級：回り込み、切り返し、ツツキ打ち 中級：ツツキ打ち、回り込み、スマッシュ 14:50 サーブ練習 15:00 整理体操・清掃・解散
成果等	○所属する部活動での県大会や全国大会で上位に入賞することができた。 ○市内のほかの学校の生徒との交流を通じて、心身ともに高め合うことができた。	○在籍校に卓球部がないため違う種目に打ち込んでいた生徒から、地域クラブ活動で卓球に取り組めたことへの感謝の声があった。 ○休日の学校部活動を地域クラブ活動に置き換える学校もあった。

今後の課題と対応方針

- 「陸上競技」は、専門的な技術等を身に付けられるという魅力と同時に、今後は未経験者の加入など裾野を広げ、スポーツに親しむ環境の整備をさらに進める。
- 「卓球」は、未経験者から経験者まで広く募集し、卓球を楽しむ活動に取り組んだ。様々なレベル、技術に対応した活動内容の充実をさらに図る。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○本実証事業では、以下の観点を重点に置いて取り組んだ。

- ①地域の実情に応じた多様な地域クラブ活動のモデルの構築等
- ②地域クラブ活動の維持・運営に必要なコスト、受益者負担等と公的資金の適切なバランスの検証
- ③指導者の質の保障、適切な指導の実施、指導者の質の確保に関する方策の検証

●成果の評価

- ①陸上、卓球の活動を通じて、地域クラブ活動の実施モデルを構築することができた。
- ②地域クラブ活動の実施を通じて、運営に必要なコストについて、全体的な把握をすることができた。受益者負担と公的資金との適切なバランスについては、展開する事業数に応じて、今後の検討しなければならない。
- ③三郷市地域クラブ活動指導員を設置することで、人材の受け皿をつくることができた。学校推薦と公募を併用することで、指導者の量と質を確保することができた。

●参加者の声

【陸上競技】

- 専門別なので、学校ではやらないような練習がたくさんあり、勉強になる。
- 地域クラブで練習した内容を学校でも行うようにしている。
- 練習する仲間に市内の他の学校の生徒もいるので、楽しい。
- 仲間と協力して準備したり練習したりするのが楽しい。

【卓球】

- 在籍校に卓球部がないため、地域クラブ活動で卓球ができてよかった。
- 自分の課題や高めたい技術などを指導員に伝え、重点的に練習することで、基本技術が向上した。
- 練習の方法がたくさんあり、すごい。
- とにかく指導員の先生が熱心に指導してくれる。

●今後に向けて

- 地域クラブ活動の種目数を徐々に増やし、成果と課題を検証することで、本市における地域クラブ活動を軸とした学校部活動の地域展開の在り方を検討する。
- 今後の持続可能な地域クラブ活動の実施に向けて、参加費の在り方も検討しなければならない。活動を通じて得られた知見や他自治体の取組を参考にしながら、本市の実態に応じた会費の設定、会費徴収の方法等について協議を進める。

2.実証内容と成果②

アンケート結果・広報資料

○指導員を募集する際は、施設への掲示、市HPへの掲載等により広報した。地域クラブ活動の参加者募集の案内は、市内全校に配付するとともに、市HPに掲載し、広く募集した。

○市内中学1・2年生を対象としたアンケートでは、休日の地域クラブ活動への参加意向は半数を上回っていた。

令和6年度 三郷市地域クラブ活動指導員 募集について

休日の学校部活動の一部を地域クラブ活動へと移行するにあたり、指導者としてご協力いただける方を募集します！

本件については、「三郷市地域クラブ活動指導員設置要綱」「三郷市地域クラブ活動指導員設置要領」をご覧ください。

- 募集スポーツ種目**
サッカー、剣道、卓球
- 募集対象者**
本事業の趣旨を十分理解し、次の各項目のすべての条件を満たす者
(1)学校教育に理解があり、専門的知識・技能を有して生徒に適切に指導できる者
(2)部活動の指導経験がある者または地域でスポーツ活動の指導経験がある者
(3)単独でも指導できる者
(4)18歳以上の者
- 従事時間**
ひと月15日以内。原則、週休日（土日）の3時間程度
- 活動内容**
学校または自身が所属するスポーツ活動の活動場所にて技術指導を行うものとする。
- 報酬**
交通費を含み半日5,000円を支給する。
- 募集期間**
令和6年7月2日(火)～7月31日(水)
- 応募方法**
市HPより必要書類をダウンロードし、所定の手続きに則り、書類を下記担当まで提出してください。
窓口 三郷市役所4階 教育委員会指導課
郵送 341-8501 三郷市花和648-1 教育委員会指導課担当宛
- 備考**
申請の承認にあたっては、面接を行います。
また、申請が承認されても、必ず指導員としての活動があるわけではありません。
三郷市教育委員会学校教育部指導課
地域クラブ活動指導員担当 048-930-7758

令和6年度 三郷市地域クラブ活動【卓球】の参加募集について

三郷市教育委員会

三郷市教育委員会では、休日の部活動の地域移行及び生徒が将来にわたりスポーツ活動に継続して取り組むことができる機会の確保として、「地域クラブ活動」の整備事業を進めています。今年度は、卓球について活動を行います。部活動に入っていない、入っていないなくても参加可能です。
指導者は、豊富な競技経験、知識、技術をもつ、三郷市卓球連盟の方です。

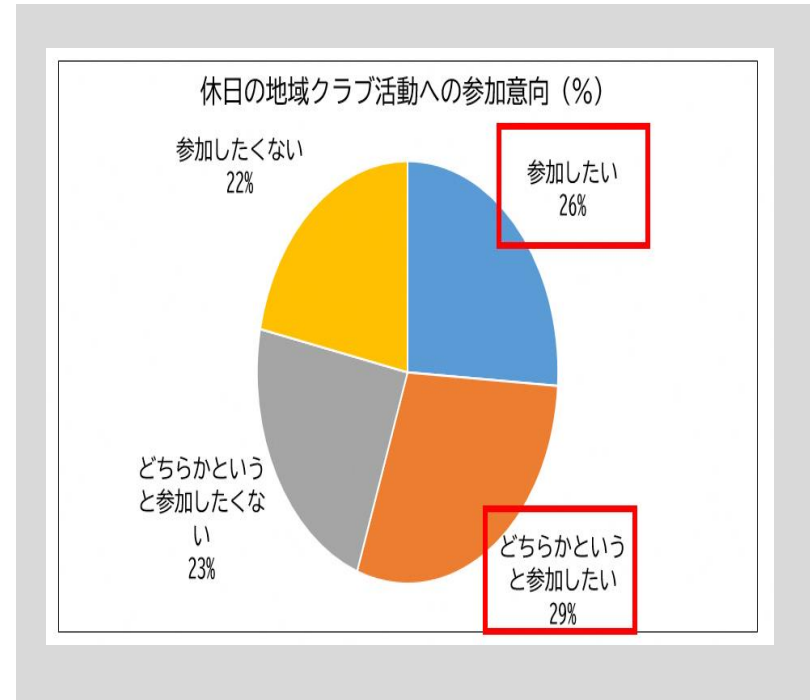
種 目	活動場所	活 動 日 時 等
卓 球	中学校（体育館） 部成中学校（体育館）	原則、土曜日の午前または午後、2～3時間程度 ※裏庭、予定表参照

- 参加方法・手続き**
(1)対 象 者 市内在中の中学生(男女) 経験者・初心者問いません。
(2)参 加 費 無料
(3)申込方法 右記のQRコードから申し込んでください。
・QRコードで申込みの際に個人情報を記載しますが、本活動以外での取扱いはありません。
・活動場所を南中、部成中のいずれかの学校から選択してください。参加人数が多数の場合は活動場所について相談させていただきます。
- 参加にあたっての留意事項**
○在籍する学校の卓球部に所属し、さらに技術を向上させたい人、在籍校に卓球部がないが卓球をやってみたい人、どちらも歓迎します。
○地域クラブ活動は部活動ではないため、三郷市教育委員会が参加者全員に傷害賠償保険に加入し対応します。
○参加申込みは随時受け付けますが、**第1回目の参加については、10月3日(木)までとします。**※傷害賠償保険の加入手続きのため
○活動日の直前に申込みをすると保険運用が間に合わない場合もあります。保険の運用まで2週間程度かかります。
○卓球ラケットは、各自準備してください。その他練習に必要なもの(水筒、タオル、体育館用シューズ(学校で使用する物で可)など)も各自準備してください。
○活動場所に集合・解散となります。行き帰りは、交通安全に十分留意してください。
- 活動予定及び指導者一覧(裏面)**
- 問合せ**
三郷市教育委員会学校教育部指導課
三郷市地域クラブ活動 担当 048-930-7758

【指導員募集ポスター】

【地域クラブ活動参加募集ポスター】

出典:各種ポスター（三郷市教育委員会指導課作成）



【生徒アンケート結果】

出典:部活動に関する生徒アンケート調査（三郷市教育委員会指導課作成）

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

○協議内容

- ・学校部活動地域移行に関する情報について
- ・市内部活動の現状と課題について

令和4年度

市内中学校部活動の地域移行に係る準備検討会議

令和5年度

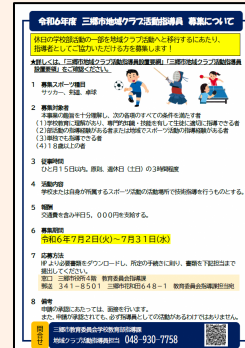
三郷市地域クラブ活動推進協議会準備委員会

令和6年度

第1回三郷市地域クラブ活動推進協議会

○令和6年7月～
指導員の募集

○卓球の会場となる
中学校体育館の調整（北部と南部の2会場）



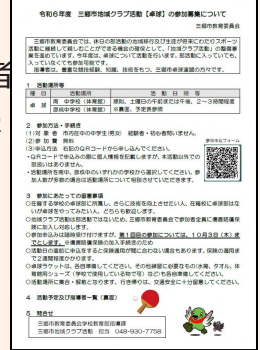
○協議内容

- ・三郷市地域クラブ活動推進協議会設置要綱について
- ・国及び県の動向、市の現状、今後の計画について

指導員の募集
会場校との調整

○地域クラブ活動「卓球」の開催及び参加者募集案内を市内中学校に配布

○陸上競技は、もともとあったクラブ活動を地域クラブ化



○協議内容

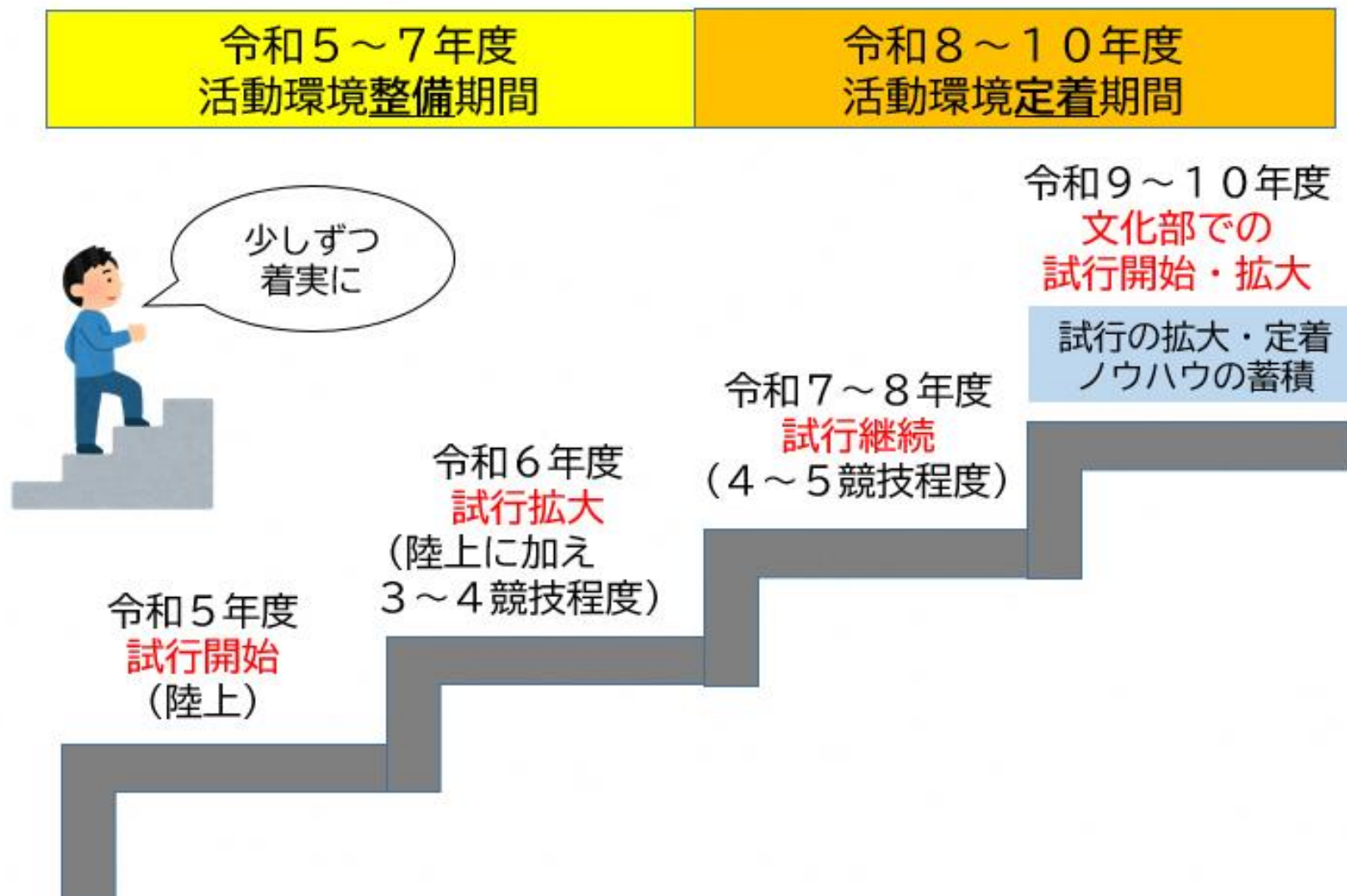
- ・部活動の地域移行に関するアンケート調査結果等について
- ・三郷市立中学校 学校部活動及び地域クラブ活動の在り方に関する指針について
- ・今後の計画について

○令和6年9月～
陸上競技の開始

○令和6年10月～
卓球の開始

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

埼玉県 鶴ヶ島市

自治体名：埼玉県鶴ヶ島市

担当課名：生涯学習スポーツ課

電話番号：049-271-1111

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	17.65 km ²
人口	69,880 人
公立中学校数	5 校
公立中学校生徒数	1,562 人
部活動数	49 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定未

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、当市の運動部活動の状況は、陸上競技、野球、バレーボール、サッカー、バスケット、ソフトボール、ソフトテニス、卓球、剣道、柔道、水泳、テニスの計12種目が活動しているが、このうち常時活動がある種目は9種目となっている。

少子化に伴い、常時活動のある部活動についても、各中学校に設置の無い部もあり、団体競技の部活動によっては、試合を組むことができない等の事態が起きている。

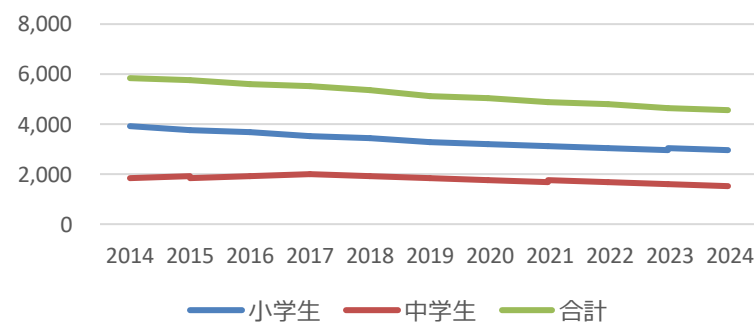
また、市内外には野球、サッカー、バスケットボール等の比較的人気のあるスポーツのクラブチームも相当数あることから、部活動の減少に

拍車をかけている状況である。

こうしたことから、改革推進期間において、勝敗のみにとらわれない部活動に代わる新たな当市にあったクラブの形態目指すため、試行的に実施する。

これにより、参加者、指導者、保護者並びに各種スポーツ関係者の地域移行への理解を求め、速やかに移行が進められるよう取組むとともに、意識の醸成を図る必要がある。

鶴ヶ島市立学校児童生徒数の推移

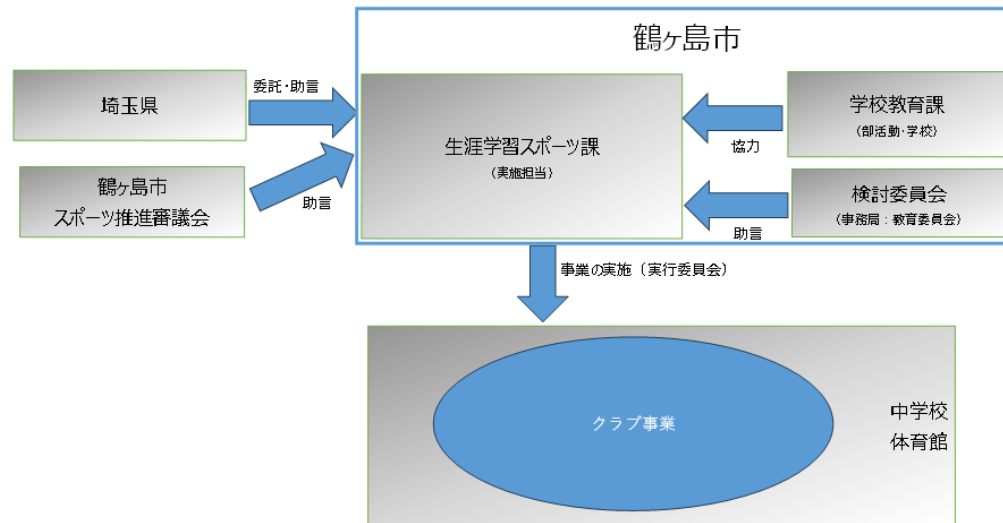


出典：学校基本調査

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校教育課・・・既存部活動の情報提供
- ・中学校・・・学校施設の提供

◎首長部局（当市は教育委員会内に設置）

- ・生涯学習スポーツ課・・・生徒、保護者、学校関係者への周知と説明
実行委員会の運営
指導者、生徒の連絡調整、関係団体との連携

年間の事業スケジュール

令和6年3月	市予算成立
令和6年4月	校長会議等で事業の実施説明
令和6年7月	中学校保護者向けモデル事業実施通知
令和6年7月	バスケットボール部男女代表顧問と調整
令和6年9月	バスケットボール部保護者向け参加募集通知
令和6年10月	参加申込書回収～集計
令和6年11月	参加者あて実施案内 通信アプリ「BAND」のインストール確認
令和6年12月	事業実施（男女各4回）

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	5 校	実施した地域クラブ総数	2 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2 クラブ（9 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	3人	全体の運営スタッフ数	3 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に （新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
鶴ヶ島市部活動の地域クラブ化実行委員会（男子）	直営	バスケットボール	月 4 回	午前及び午後の3時間程度	1年生 18人 2年生 19人	令和6年 12月	鶴ヶ島市立 鶴ヶ島中学校 ほか3校 体育館	3人	3人	無料	無し
鶴ヶ島市部活動の地域クラブ化実行委員会（女子）	直営	バスケットボール	月 4 回	午前及び午後の3時間程度	1年生 28人 2年生 16人	令和6年 12月	鶴ヶ島市立 鶴ヶ島中学校 ほか3校 体育館	3人	3人	無料	無し

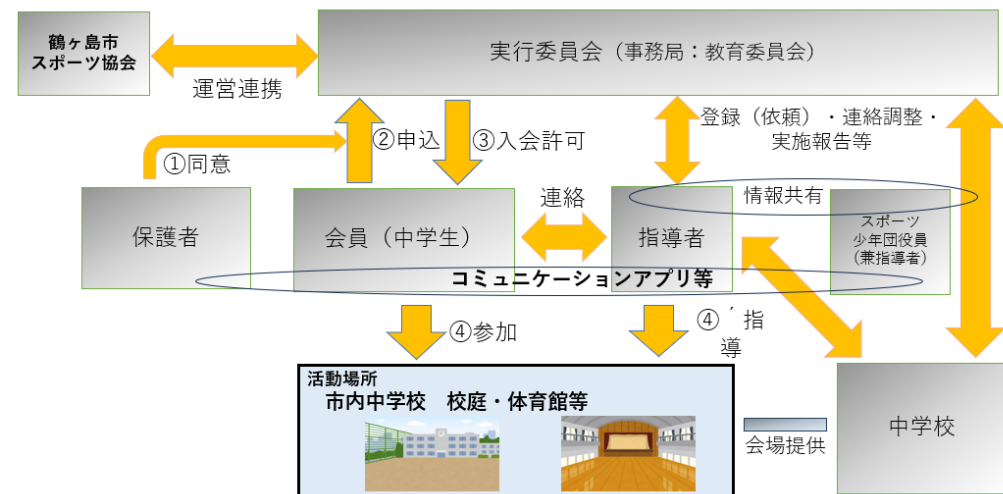
2.実証内容と成果

主な取組例

● 鶴ヶ島市部活動の地域クラブ化実行委員会活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール
運営団体名	鶴ヶ島市部活動の地域クラブ化実行委員会
期間と日数	12月1日～12月22日（月4回）
指導者の主な属性	高等学校バスケットボール部指導者 スポーツ少年団指導者
活動場所	中学校体育館
主な移動手段	自転車及び自家用車による送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	無料
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：1,450円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

● 実行委員長

役割：実行委員長は、本会を代表し、会務を総理、運営の統括

● 指導者 2 名

役割：参加者への指導を行う

● 指導補助者 1 名

役割：参加者への指導補助を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○実行委員会を実施主体とし、通常の部活動に代わるスポーツ活動の場を設置する。

○実行委員会は、スポーツ協会等の地域のスポーツ団体による運営を見据えたものとする。

○連絡手段としてBAND等のアプリを活用しながら実施する。

取組の成果

○クラブの運営、関係機関との調整を行うために実行委員会を庁内に設置した。

○実行委員会は、庁内及び学校関係者との調整には機能した。将来的には市スポーツ協会等の団体が担うことを想定しているが、関係役員との事前相談では時期尚早との判断となった。

○クラブ内の連絡手段として通信アプリ「BAND」を使用した。運営主体と指導者で1アカウント、運営主体と参加者で1アカウントの計2アカウントで運用した。

○当日の欠席連絡など、緊急時は個人のスマートフォン等を使用する場面があった。

クラブ内の連絡手段



出典：通信アプリ「BAND」

今後の課題と対応方針

- 地域クラブの設置にあたっては、人件費などの運営経費が必要になることや、会費徴収で賄えない部分の経費について、誰が負担することになるのか課題が残る。また、既存の中学生のクラブチームが複数存在しており、当該クラブに公的資金を投入することにより、既存のクラブの取り扱いなど慎重に検討しなければならない。
- 通信アプリの使用は、通常の連絡方法として効果があるが、当日や非常時はクラブ専用電話など別途連絡ツールが必要。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項	登録者属性	種目	資格有無
○指導の質を担保するため、有資格者中心の募集活動により指導者を確保する。 ○地域の実情に応じた指導体制が構築できるよう、本事業を通じ、市内のスポーツ少年団等との関わり方を研究する。	職業 公務員 2名 大学講師 1名 実行委員会による直接的な指導依頼	バスケットボール (高校生指導) (小学生指導)	○バスケットボール協会 資格C級指導者 ○スポーツ少年団 スタートコーチ

取組の成果

- 事業の実施にあたり視察会を開催。「指導に興味がある」との回答を得たが、スポーツ少年団への事前の聞き取りでは、「今はクラブ運営で余裕はない」との声が聞かれた。
- 指導体制については、既存のクラブチームやスポーツ少年団での体制から、拡充した指導体制を構築する必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○市内のスポーツ協会及びスポーツ少年団や民間のスポーツクラブとの情報交換をはじめとした連絡体制を密にし、関係性を強化することで、地域クラブ化への移行を促進する。

取組の成果

- 中学校長会に出席し学校の協力を求め、施設の使用や備品の使用許可と所属部活動の顧問の理解を得た。
- 近隣大学の協力を得て、スポーツ科学生の運営補助を導入した。
- スポーツ少年団の協力を得て、当日の指導補助を導入した。
- 当市の「スポーツ推進審議会」や「スポーツ少年団」、「スポーツ推進委員」への事業紹介や報告を行い、理解を深める機会を得た。
- 民間事業者には、今回の実施への関連性が低かったため、関係性を構築することができなかった。

今後の課題と対応方針

○今後、スポーツ団体の地域クラブ化への関係性を構築するために、直接的な事業協力に係わず、多くの競技団体や民間事業者等に本事業に参画いただくことや必要性を説明していくことが必要である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

○市内全ての中学校を対象に1クラブで男女別を想定している。
 ○検証結果により、他のクラブでも実施可能な場合は、関係機関との協議を行い、合意形成された場合は速やかに地域クラブ化を進める。

移動手段

○当市は徒歩通学が多くを占めているが、市内のクラブチームが使用している方法で運営した。
 ・徒歩
 ・自転車
 ・自家用車による送迎

事務局運営の方法

○鶴ヶ島市教育委員会内にクラブの実行委員会を設置（運営主体）
 ○実行委員長（生涯学習スポーツ課）がクラブを統括
 ○事務局員（生涯学習スポーツ課担当職員）がクラブ運営を行う。

取組の成果

○比較的指導者が多いとされるバスケットボールを対象として、男女各1クラブを設置したが、市内クラブチームやスポーツ少年団の指導者に地域クラブへの派遣の可能性について、現状では難しいとの回答を得た。
 ○他の団体として剣道では、中学校部活とスポーツ少年団のつながりが深いことが判明した。

今後の課題と対応方針

●市内クラブチームやスポーツ少年団の指導者の更なる育成が必要である。
 ●競技ごとの指導者の状況を調査し、指導者体制に応じたクラブ化への促進が必要である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

○活動プログラムを指導者と実行委員会回共同で作成する。

活動の詳細			
参加人数	81 人	指導者数	3 人
属性	市内中学校のバスケットボール部所属の部員のうち本事業に申し込んだ人		
具体的な内容	○当初、指導者と活動プログラムを共同で作成予定であったが、実現には至らなかった。 ○理由は指導者が高等学校教員であり、多忙なうえ、運営側との調整の時間が取れなかったことによる。 ○活動プログラムは、事前情報で参加者の様子を伝えてあることで、概ね指導内容を用意いただいた。以後は用意したプログラムを修正しながら実施した。 ○指導者の職業などの属性により、指導プログラムづくりの方法が異なる。 ○今後は、指導概要をあらかじめ、運営側で整理しておき、対応する必要がある。		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

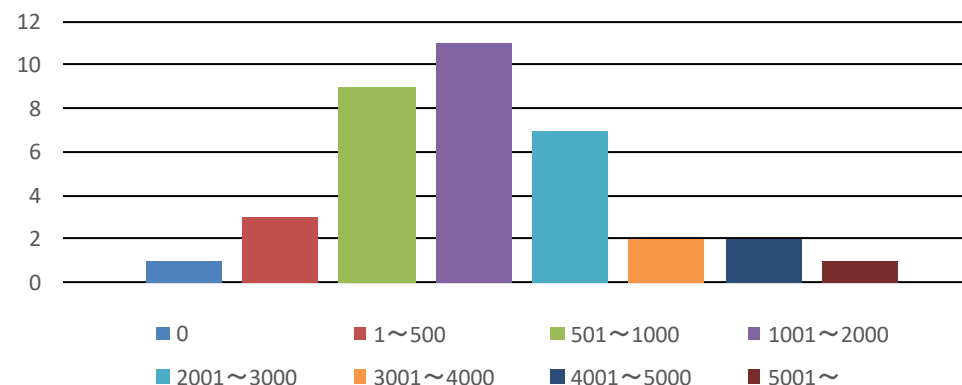
取組の成果

- 学校外の活動であるため、受益者負担が原則であることが考えられるが、第1回目のモデル事業として実施するため、無料にて行うこととした。
- 事業実施後のアンケートでは、8割の生徒が活動を継続したいと回答。
- 「事業を継続してほしい」、「休日の部活動に賛成」と半数の保護者が回答。
- しかし、「費用が掛かってでも参加させる」との保護者は2割に満たず、別途費用が掛かることに関し、理解を得るのはなかなか難しい状況が伺える。
- 記述の参加費用については0円から10,000円と幅広く意見あり。
- 1,000円から2,000円の意見が多い。

地域クラブに係る経費 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算 収支バランス

- 無料にて事業を実施したことや、運営主体を教育委員会で行ったため、クラブ経費や運営に必要な参加費用、また、収支に関する算出はできなかった。

参加費用保護者アンケート



出典：鶴ヶ島市部活動地域クラブ化モデル事業に関する調査

今後の課題と対応方針

- 保護者には、これまでの部活動になぜ参加費用が不要だったのか等、丁寧に説明する必要がある。
- スポーツの意義と共に、クラブの加入にあたり、参加費用がなぜ必要なのか、併せて説明する必要がある。
- 会費設定は低廉にするために、公的な資金の投入や民間資金の活用を検討が必要である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

○他の公共施設を使用することもできるが、他の市民への使用枠の減少などの影響を考慮し、学校体育館を活用することとした。

○学校部活動の通常の活動時間に合わせ事業の実施を行う。また低廉な会費設定が求められることから、学校備品活用の調整を行った。

取組の成果

○運営主体として、会場提供中学校の体育館と備品の借用依頼を行ったが、概ね良好な状態で理解を得た。

○高額なスポーツタイマーなどの備品は、指導者の持ち込みとしたが、事業終了後には、学校施設であるものは全て活用したいとの意見があった。

○施設の使用にあたっては、既存の学校体育施設開放制度を活用して、施設の鍵の借用～施設使用～返却と特に問題がなく実施ができた。

今後の課題と対応方針

○事業の活動日は、体育館を使用する全ての部活動を休止としたが、他の部活動との面分割使用や入れ替え等があった際の事故や怪我などの対応が課題として残るが、今後、対策について検討する必要がある。

○運営主体が行政であるため、今後スポーツ協会などのスポーツ関係団体になった場合は、別途利用のルールづくりをする必要がある。

○学校備品の使用については、どこまでが借用範囲か、整理しておく必要がある。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

当市では、市内の指導者や運営主体となり得るスポーツ団体に依頼ができない状態のなか、行政の主導にて実施をした。

指導者の確保や参加費の設定、並びに運営主体の確保など、課題が多数存在することが、現実的な事業化の障壁となることを再認識した。

しかし、事業の実施までの間に学校、スポーツ少年団との説明や理解を重ね、事業の実施中にスポーツ関係団体等の視察会を開催し、活動中のこどもたちの眼前に、興味や協力したい等の声も聴くことができた。

事業実施後には、報告を各種スポーツ団体に行うなどし、こうした機会が移行への理解と協力への一助となってくるものと理解もできた。

また、この事業に係わりが直接無かった団体が数多くあるが、多様な機会を通じて、説明や実施事業を見ていただくことも大切である。

当市のこどもたちの置かれている状況を丁寧に説明し見ていただくことで、当該クラブが地域社会の中で生涯スポーツとして機能すると思われる。

●成果の評価

地域資源の掘り起こしが不十分な状況の中、事業の準備を行い、「事業をやる」が先行してしまった感があるが、結果としては、事業を通して、地域スポーツの指導者や運営主体となる団体関係者たちに「興味が湧いてきた」、「これなら少し協力できるのではないか」という状況を作りだせたのではないかと考えられる。

また、参加者からは、比較的好評であったが、これは一時の感情であり、実際に顧問から離れることへの心情などは聞き取りができていないため、大人達だけの都合で進めてしまっても良いのか不安な部分もある。

現実的には課題が山積しており、この内容で即、本事業の実現には結びつかないが、出発地点からわずかに進んだ印象となっている。

●今後に向けて

地道なモデル事業の実施と課題への対応の繰り返しが市民意識の醸成となり、地域のこどもたちを地域で育てることに繋がると考えている。

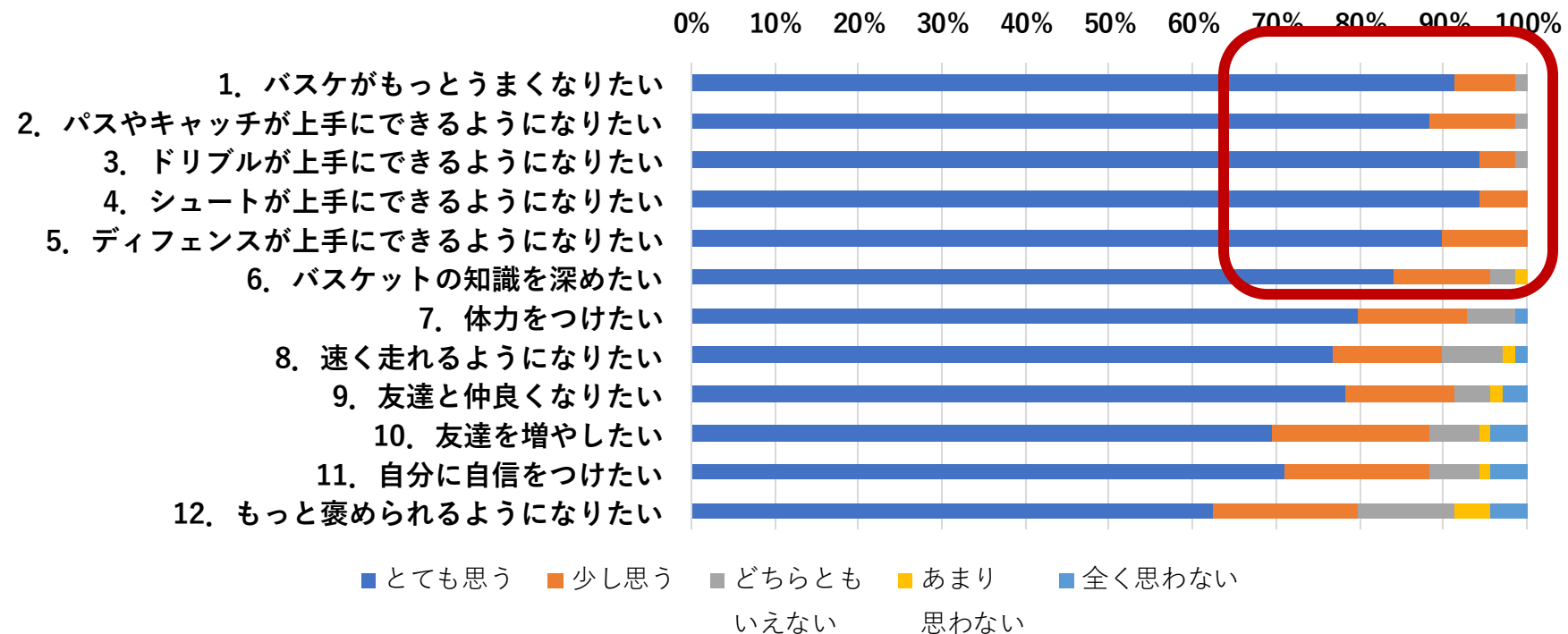
課題を抱えながらも、地域のスポーツ関係者と共に考え、当市のあったクラブづくりができるよう努めたい。

2.実証内容と成果②

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

生徒からみた事業への期待



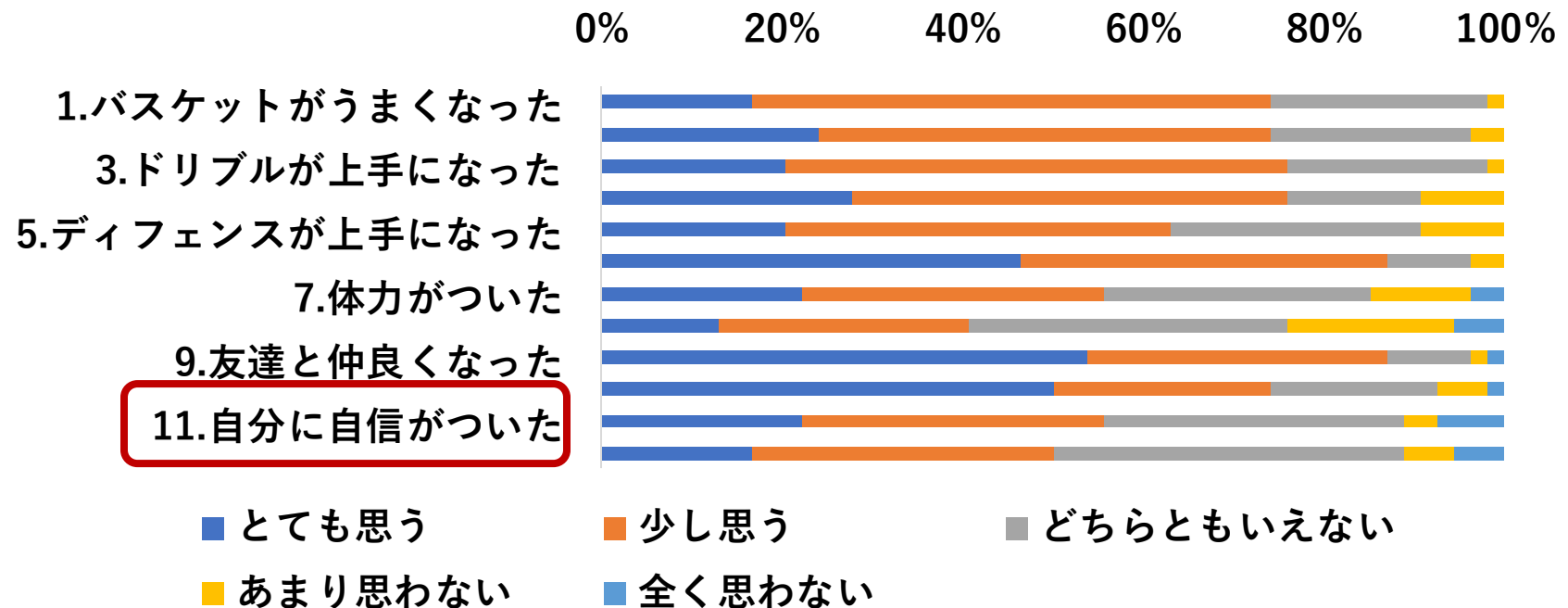
[事業にどのような事を期待してるか]の質問に対して、全般に新しい事業のスタートに対しての期待が大きく、すべての項目で「とても思う」の回答で60%以上を示している。特に種目(バスケットボール)の技術や知識といった専門性の向上への期待が大きい。

2.実証内容と成果②

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

参加してどのようなことを感じたか



参加してどのように感じたかの質問に対して

種目の技術や体力の向上に関しての「とても思う」の回答は少ない。全4回と開催が少ないため、そのようなことを感じるには至らなかったためと考えられる。一方で知識に対しては90%程度の子どもが「深まった」と回答しており、普段の部活動と違う指導者と関わることで新たな発見や気づきがあったことが伺える。事業への期待では比較的少ない回答数であった「友達と仲良くなった」「友達が増えた」の項目の回答が高くなっている。集まって一緒に練習することは、他校の生徒との関わりあいも増え、社会性の向上につながると考えられる。短期間の実施ではあったが、記述にも「他校との交流」「仲良くなった」などのコミュニケーションに関するものが多くみられた。

アンケート結果・参加者の声

●参加者の声

中学生（Aさん）○

自分たち以外の学校の人たちとできて、じぶんの成長につながった。上手になった。基本がしっかり学べた。

中学生（Cさん）○

学校ではやらない基礎を楽しく学ぶことができるので、続けたと思った。

中学生（Bさん）○

違う中学校の人とやって友達が増えたと、楽しくできた。いつもとやり方が違うから、いろいろなやり方があってよかった。

中学生（Dさん）△

他校まで距離があるので通いにくい。

指導者（Aさん）

運営管理者との連絡等は小まめに連絡をいただいていたが、あらかじめ特性を知っておいたほうがよい生徒がいた。地域クラブの指導者の確保については、謝金をはじめとした待遇次第ではないか。今回勤務地や居住地から遠かったため、毎週定期的に指導するのは難しい。

指導者（Bさん）

事前の会議では不透明な部分もあり、終着点が見えない話し合いが続いた印象がある。校舎内にシューズを忘れてしまった生徒が多かった回があった。運営のほうでできないか。現状は自分のチームを優先しているため、指導の継続は難しい。指導者の確保を考えるのであれば専属できるくらいの金額を給金として準備する方がよい。

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

●生徒、保護者への案内については、各中学校の顧問を通じ配付・回収を行った

市内各中学校
バスケットボール部所属生徒・保護者 様

鶴ヶ島市第1048号
令和5年9月24日

鶴ヶ島市部活動の地域クラブ化実行委員会
実行委員長 ○○ ○○
(鶴ヶ島市教育委員会生涯学習スポーツ課長)

鶴ヶ島市部活動の地域クラブ化モデル事業（バスケットボール）への参加申込みについて
(御案内)

日頃から、本市の教育活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
市教育委員会では、こどもたちが将来にわたってスポーツ文化活動に継続して親しめる機会を確保し、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境の整備に取り組んでいます。
そこで今年度、市内中学校バスケットボール部所属の参加希望者を対象に、部活動の地域クラブ化モデル事業を行います。
つきましては下記により参加申込みの受付を行います。ご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

記

- 申込対象 市内中学校バスケットボール部所属の生徒のうち参加希望者
- 事業概要 別紙「令和5年度鶴ヶ島市部活動地域クラブ（バスケットボール）モデル事業概要」のとおり
- 申込書類 参加申込書及び健康状態申告書
- 申込先 所属の部活動顧問へ提出
- 申込期限 令和5年9月30日（月）
- 問合せ担当課

事業実施に関すること
(実行委員会事務局)
鶴ヶ島市教育委員会
生涯学習スポーツ課
電話 049-271-1111

部活動の運営に関すること
鶴ヶ島市教育委員会
学校教育課
電話 049-271-1111

鶴ヶ島市地域クラブ（バスケットボール）参加申込書
鶴ヶ島市地域クラブ実行委員長 ○○ ○○様

受付 NO. _____

申込者氏名	〈ふりがな〉		
生年月日	平成 年 月 日	性別	男 ・ 女
学校名	中学校	学年	年
住所	〒 鶴ヶ島市		
自宅電話		携帯電話	
E-mailアドレス			
緊急連絡先			
保護者氏名		続柄	
備考			

上記のとおり、貴クラブに参加したく、別添健康状態申告書を添えて申し込みます。
なお、本情報については、クラブで使用するほか、所属学校にも共有することに同意します。

申込日 令和6年 月 日

申込者氏名〈自署〉 _____

保護者氏名〈自署〉 _____

【生徒・保護者への参加参加申込案内】 出典:鶴ヶ島市生涯学習スポーツ課

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【実技後の指導者指導】



【課題練習】



【指導者の模範実技】



【集団実技練習】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

中学校、スポーツ協会、競技団体、市教育委員会

経過

令和5年度より部活動の地域クラブ活動移行検討委員会を設置し、移行後の目指す姿とモデル事業の検討を行うため、同年に職員アンケートを実施し、モデル事業案を作成した。令和6年度は、運営団体として、学校関係者、指導者、行政等で組織する実行委員会を設置し、クラブ活動のモデル事業の詳細を決定した。

実施内容

12月の市内5中学校の男女バスケットボール部活動の休日の部活動を停止し、地域クラブへ参加する試験的な取組を実施した。男女のクラブは市内5中学校の生徒が参加する形態で、原則徒歩通学の生徒をクラブチームの活動を参考に、徒歩、自転車、自家用車による送迎を可とした。

実施にあたって生じた課題

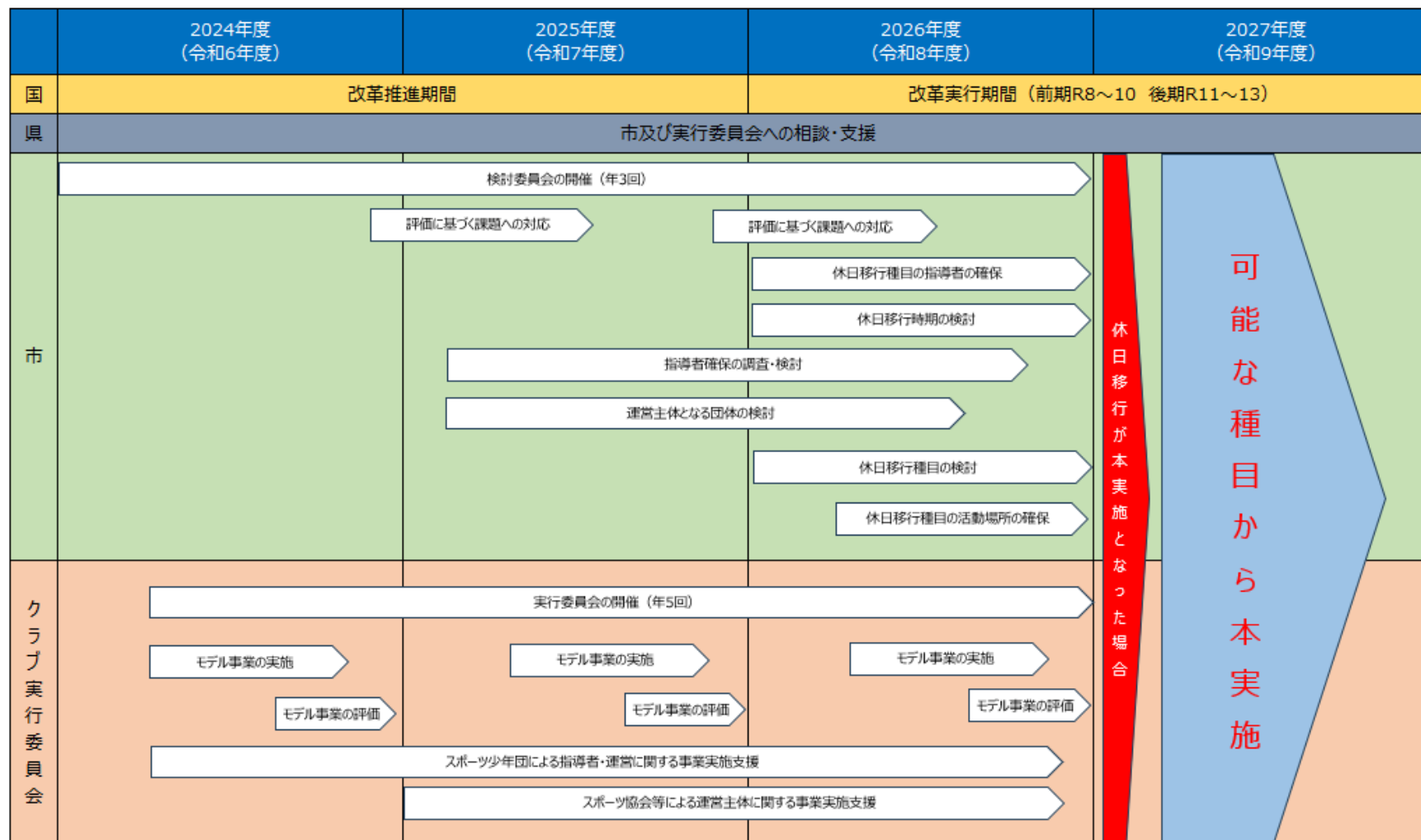
休日のクラブ活動の準備において、指導者の確保が早々に問題となった。どのクラブにおいても、説明が不足していた点は否めないが、指導者の派遣依頼については、市内の団体からは余裕が無い等として協力していただけなかった。また、実施日については、学校行事が多くあり、これに配慮した日程を組むことが容易でなかったことが挙げられる。さらに、市内全ての中学校より参加者を募集したこともあって、意識や技量についても、幅が広く、目指す活動のあり方の設定を難しくさせている。

今後の展開

令和7年は、他の種目の休日の地域クラブ活動を実施する。指導者は、持続可能な指導体制を確保するため、部活動の外部指導員や退職教員の採用を検討する。運営主体の整備については、地元スポーツ協会に説明などの働きかけを行っていく。会費負担の必要性については、保護者に対し、機会を捉え説明していく。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ^o



出典: 鶴ヶ島市生涯学習スポーツ課

※学校については、現時点对応が未定であることから掲出していない